聯盟理事會の空氣

り先う山東に在る石 旅遊兵器職業の整造

祖友三、郷田堂単なして光常を聞かれたこ、郷田堂単なして光常を聞か

【天津十日登】 常地駐屯のフラン 大中隊合計百八十名は昨日天津登 上海にฒった

花谷少佐昨夜離季

支那軍破壞

夜間航行不能

吳淞燈臺を

によれば職玉職及び膨慢山が彩を 引いてるるさ云はれてるる

『ロンドン九日費』アイルランド アルスターの第一大院は本日上海 に出動を命ぜられた

本倉譲た銀行の客である本倉譲た銀行の客である

英軍上海出動

けふも 續開

機關銃除赴滬

年を狙ふ形勢

先づ石、

劉兩軍をして

韓復榘軍移動を開始

山留邦人

暫く隱忍せよ

国称長官スチュソン氏を誘않。一 新提案を日本に送る考へなら ス大使リンゼー氏は本日アメリカ 今後の影響に變化なければ別に 「ワシントン九日要」 駐米イギリ 接記者に難し

野村司令長官語る

『上海十日教』野村司会長 館は本日左の妃く謎る

對日決戦を

日支問題の

質問延期

フランス下院

機は開北西方郊外の影浦の育兵約

郷 東京に (本) と (本) と (本) と (本) と (本) と (本) と (本) を (本) と (本) を (本) と (本) を (本)

展なりさして際焼され寝り六十五 事よりなる調査委員は昨日全部を 野脱した

支那の抗議を

工部局受附けず

た百十七名の内五十二名は避難

戦闘中止を嚴命

一九路軍に對し

敵の移動を

駐日米大使後任

ジョセフ・グル

てるやう支部艦に返答も窓にこれ し前後二頭の抗議な出したがこれ し前後二頭の抗議な出したがこれ に難し五部屋では直接日本に抗議 では直接日本に抗議

を受附けなかった

對支調查委員

空陸兩軍で阻

覺悟したと豪語

洛陽に歸った蔣介石

即延期を要表も述べてほく

英樞府議長

中立表明

九日下院で

日本に對して

グーより大変首様以下在高 なきため天機系向の後

偵察開始

ルコ駐部アメリ 法學博士の機能を称りである リオーアス氏の 記述を提出しに外変館さして答画 リオーアス氏の 記述を提出しに外変館さして答画 サート大學及びジ 本年五十二歳の職き続りである

總攻擊準備

午前十時定例日につき数集振動官は十

と云ひ意気戦闘たるものがある わが飛行機

樞府定例會議

新提案です

九時性から我が山巌は正殿無規のた場で横に気と振りに暗れ郷つた空飛行機に気と振りに暗れ郷つた空

學良排除や策應

愈よ北支風雲動く

のため更添すべしさの意見起りつのため更添する非磁高まり北支権持

で十二日出駅の同泊壁を二十四時で十二日出駅の同泊壁を二十四時

問連らす事になってゐる

張學良更迭說

ク養の操定で同地でアメリカ委員 の養を設合一行は九日ニューョー

霸者×××田材駒

と大陸総由桑港

米國務長官ご協議後

駐米大使り氏語る

羅文幹反對を表明

例へ英米支持するも

報

『神正を翻選させ保安職を るさら支那は継黙に承認せてき過ぎれているとの歌なされているとの歌はとないの歌を支持す

令案委員附託

れば日華紡、赤安統第二工。の地駄に在る支那人連が織然は常に之を撃退し夜明、飛候は江麓原車場の西南原農戦やさしてゐるが我が「『上海十日數』午前十一

では動き我た翼な突破せ に出動さ我た翼な突破せ では、人ればクリークの

兵を砲撃全滅

【上海十日会】昨夜水酸は不須味 は光默を守つてるたが本日午後三

見遊して蘇州方館に後速を開始しる の職職同車は第一線の十九路車を の職職同車は第一線の十九路車を のの職職同車は第一線の十九路車を の

あるものと如くである

職官から戦烈を職敗中度野村長官がと戦況を職取中

|使からて部球画に道達せらむる事さなつた| |保証を日本館の所識局部経療決には避難反難である旨を国際職態支那代表観忠應を通じ國際職監に観選せて使からて部球画に道達せらむる事さなつた

聯盟及び各國に通達

してなほ有力な野戦を持つてゐる いされ無空知機さなつてゐる。両 では我軍のため西北郡が蔵より包 の際た吳淑クリーク上流地方に迁 では、近年後のである。では、一般でもある。 では、近年後のである。では、一般で安淑クリーク上流地方に迁

總攻撃を前に

日午後四時之を破戦全滅せらめたに能破兵隊地を養見我野破隊は十に能破兵隊地を養見我野破隊は十に能破兵隊地を養見我野破隊は十

敵前で休養

意氣軒昂たる我軍

近に砲

彈落下 本部附 满

外交々沙を拒絕す』さの懸後條が此を決定した『北平十日登』郡代在は昨日午後後陽に歸養し治牒杖義と臨歸の結果『上海事件は東北問題と同時に解決し局部的

蔣介石最後的方針決定

職官非公式會議を開き費用軍務局「東京十日発」際軍では十日午後。

日午前十時和公式に支那家軍に野れあり野村第三艦隊司令長官は十七年前十時和公式に支那家軍の事件機関

の敵を包

百餘名は都然か襲撃し都察はポント を非はこれな保護せし感支那群衆五 を非職衆に襲ばれフランス租界で とて来た日本人がフランス租界で を非職衆に襲ばれフランス租界で を対している。

邦人通行危險

然に悪化してかり、日本人の通行がにある各外國人の野日政徳は相

人の通行を

山砲と空中爆撃作戦

一大隊を全織した

わが陸軍の

到着で

動

敵野狗陣砲擊

陸海軍事參議

行するに於ては我軍は近く之が二十哩外への撤退を實力を以て實現せしむる外なきに至る行するに於ては我軍は熊地を中心に看々職備を進めつとめる支那軍が依然膨退せず我警備區域及び租界攻撃を積める、租界外二十哩まで支那軍撤退せば列國の斡旋する停戰協議案は我政府の欣然應諾する我軍が職北の緊ਆ闘機に除ける膨脹に終始と支那軍撤退せば列國の斡旋する停戰協議案は我政府の欣然應諾する我軍が職北の緊ਆ闘機に除ける膨脹に終始と支那軍の機能に否能等、與新等の成績をせざるは我軍が全と事態の擴大を希認せざるほので、上海十日衰 第三艦隊中令部は午前十一時隊語の総式で左の際明を衰退

攻撃を續行すれば實力行使

第三艦隊司令部聲明

支那海軍に對し

支那兵逆襲

来りしは同部除が低日クリークの 正午より夜にかけ同方面に遊襲し 正午より夜にかけ同方面に遊襲し

日發】第三艦隊司令部發

我が続な突破して友軍さ合せんさ

抗議的詰問

②出院によって吴海の友軍さの連絡 総らしめた
③出院に集結してるた配約五千 せしによるもの、好きも我軍緊逐表、近職に集結してるた配約五千 せしによるもの、好きも我軍緊逐 我が線を突破して友軍さ合せんさ

高橋船長射殺

事件

邦人を保護した

便衣隊が我軍

佛租界警察襲擊

電車二十九臺を破壊

暴力行為を詰問

佐役さして戦機を統一するに決定

十二名、中立三十二名、合計六百

南" **史學**) 各若十名 古"文學人哲學" 倫理

最

八名である

立候補辭退者

民政選舉委員會協議

前十時から本郷の茶機機裁邸に選 かにつき間底的に私頭をなす事さ 野黨陣容を

发育二十九名、民 发育二十九名、民 花立、民 中立八 名、民政態二百

五十三名

軍の採つた處置を報告し現狀及び「した 秦部三名、**安**達派 連絡を斷たれ

称歌の小早晩貨現さることので見

復黨説が再燃 安達前内相の

(東京十日教) 都合 住文部省實業學務局長 *

實業學務局長更迭 索池豐三郎

無されたが長谷地氏の歌念により (新)の四氏立候種も大慈戦な康 (新)の四氏立候種も大慈戦な康 (新)の四氏立候種も大慈戦な康 岐阜三區無競爭か

なれてるる妖態で五日は属域外の 一名数され、二名行方不明さなつ 一名数され、二名行方不明さなつ た、また八日までに上海を飛続ける。 城内よりも、窓ろ區域外が危険温は便去隊の活躍する日本軍管備地

大學豫科 ▽ 授業時間 (宗、
▽ 被會所在○法文。

舎 宴 固 は命用即の 出仕と

事 門 部 (法律、政治、宗教、商、泽海、盖間夜間又獲滿座 人學試験學派人物と演员人學、企用安付前日近一种田駿河藝鈴木町 人學試験學派人物と演员人學、交換、映画、美術、音樂)是該學不了前八時站)人學試験了月廿九日受付前日近一時期 新八年前八時站)人學試験了月廿九日受付前日近一時期 新八年前八時站)人學試験了月廿九日受付三月廿五日迄 按明 新一年 人學試験了月廿九日受付三月廿五日迄 按明 新學校(夜間授業)式驗三八世紀受付三月廿五日迄 按明 新學校(夜間授業)式驗三月廿日日 20 三月廿日日 20 三月廿日日 20 三十十日 20 三十日 20 三

八學 募集

高──學期・入學志師心得へ所在地短請求ノ事(要郵券)別日○四月三日(筆記)○四月七日(口頭試問)▽何〇三月一日ヨリニチニー・→ 元

圖姓話姓話姓話姓語姓語姓語







店

大阪屋號書店

の機會到來待望 まると、だっち七四ル路、 第子路以 ・ の谷鉱を内通する深跡観光なので ・ の谷鉱を内通する深跡観光なので ・ の谷鉱を内通する深跡観光なので ・ の谷鉱を内通する深跡観光なので 後方に潜入

英國 ギ ブ ス 會社 英國 タルクロウス 會社 舶來化粧品專門

情報を避けて他在なること規則と 事代数生以来(行方が明さ無へられて 後事能内にあって英交 して我軍で採留の後工部局に引 便衣嫁嫌疑者

満蒙に雄飛せらる」商士よ

産業の合理化に依る優良製品の廉賣御註文と御照會には迅速・叮嚀に洋反物の御用はゼヒ田村駒へ!!

春の服飾品は豊富荷揃 斯界の有名品は先づ田村駒より

▼嵐月綿モス……▼ピリケン小巾英ネル…… ▼名乗捺染友仙モス グ …… 御室 ・ 花房 友 仙 ・ ・ ・ ・ 一 大巾 捺染織・を減ネル 夏向新製品各

▼観察なる無地物・形を ▼婦人・子供服地 以上各品の既製

大阪市東區安土町四丁目 株式會社 駒 商

新領政引は

近信 贩資部

保し如何なる地酸にも最も必 行のは、中心核子であつて、 行のは、中心核子であつて、 で型なる制度文物の機構のみ で型なる制度文物の機構のみ で型なる制度文物の機構のみ で型なる制度文物の機構のみ

滿洲輸出

セメント争奪戦

滿鐵から二十五萬樽

H

日支提携に

警官の特殊教育

一月未来北朝鮮清淡、羅楽、雄岳の冬港を視察し歸途覧に龍井、敦の冬港を視察し歸途覧に龍井、敦

十十十年後重で会議しなく部長室で 一寸一息の作業地帯を赤へば融るが、それはいつも言ってあることは何かと問ふであることは何かと問ふのが、それはいつも言ってゐるのか、それだけだよ、滿家の事情も追々疑って来やうし新らどい世界は、社話を疑って来やうし新らどいと言れば対抗と出って来やう、も常然に起って来やう、もからも常然に起って来やう。も常然に起って来やうし新らどいました。 国家が出来れば炭礦統制の必要も常然に起って来やうし新らどいは対抗さなってもまってある。 この炭礦統制は緩礦なざさ異って山の採掘を止めてしまへばそ で山は対抗さなってもまへがそ でしまるがられば、即ち炭坑さいふものは

高等警察方面も改新

關東廳の積極的計畫

を要するよ、吉會線のここはは を要するよ。吉會線のここはないが何處さもに風が強く波 が荒いから今後大きな船をつける設備をするよ。吉會線のここだ、勿 はないが何處さもに風が強く波 が荒いから今後大きな船をつける設備をするよ。吉曾線のここだ。勿 はないが何處さもに風が強く波 が荒いから今後大きな船をつける設備をするよ。吉曾線のこことは。勿 を要するよ。吉曾線のこことはないが何處さるに、勿 を要するよ。古曾線のこことはないが何處さるに、勿 を要するよ。古曾線のこことはないが何處さるに、勿 を要するよ。古曾線のこことはないが何處ともに関が強く波

伍堂理

事が

完整を脚することとなった

墜落三將校に

昇級の御沙汰

で東地際数に並行して防疫事業の 変像繁に献上して四平領に細胞物 変像繁に献上して四平領に細胞物

名な数生地たる内

上海慰問

日に出發

政治の根本意義に於て、卓然何政治の根本意義に於て、卓然何以上に建設されて居る。試みに過去十級年間の各國與敗の事跡の主に建設されて居る。試みに一次の人間の任何の主に登しても、人類の東京の大局に照しても、人類

南本型からは、 一本では、 一本では、

北鮮各港を

なか

伍堂滿鐵理事語

3

統

技術上から視察

吉會線の終端港は知られ

佐藤鐵道部次長談

圓に書換へ暴利

奸悪な哈市の商人

【京輔特體十日襲】字頭總督は出版の人物を倒すことは登頭には世界的財界の人として崇拜されてあった。民族の震滅を離れて國家のため努力をれ、前途多望な政治家の一人者であった。又一面には世界的財界の人として崇拝されてあて、一大損失さ云ふべきである。何時もながらこんな暴躁によって有たがらこんな暴躁によって有たがらこんな暴躁によって有いがある。

へない、網民さらて大いに整能へない、網民さらて大いに整能があないやうによく頼んで置いためないやうによく頼んで置いた人事の異動は最早権密院の手な際、企ので激發さることになる、從つて動作に進級とてやめるから農林局の設合も目下脳密院で番組の終合も目下脳密院で番組のであるから農林局の設置も三月頃になるであらう

奉祝紀元節

0

M蒙新 新 十備會議開催 具體的促進を圖つて 國家建設

獣の同鐘がわる。この史實な治歴代天子の稜威があり、金願記八千萬衆の上に降臨し給ふ處

山岡長官に謝辭

記者團に宇垣總督語

3

在満鮮人問題を

三月に各省代表會議

さ考察中である、この窓に関して大統領フーサアー氏はこの一級小大統領フーサアー氏はこの一級小大統領フーサアー氏はこの一級小大統領フーサアー氏はこの一級小 『ワシントン九日後』米回政府は 会世職邦の中、五歳邦は既に財政 会世職邦の中、五歳邦は既に財政 を世職邦の中、五歳邦は既に財政 で「報込み濟みであるが探りの十 五歳邦の一部は復興金融會社の資 さして直接一般公衆に對ら小日實 さして直接一般公衆に對ら小日實

◆松山學生映画デー

社債賣出し

来の皇践を奉承し、それに単雄 にある。並に紀元の佳節に際し て、晋人は殊に深く之か痛感す るものである。

こいふものか

変の態を立て、 るる者、瞬さ

斯·希 話恋外表

引出策

ゆいける。

る。或はヤンキ

一の智慎たるキ のさまるで野獣 者、又痛快機 し見物先生だ の生命総たる清州で活躍する第 生命線たる浦州で活躍する第

ぬる少年達だしさ 「被等は活動 びに致くて歌の娘を歌座になる がに致くて歌の娘を歌を立へ ば、個かに一ケ月に一座の學生 で、個かに一ケ月に一座の學生

女の場合にさへモ ても社會的訓練を終く結果であることは否めない。新教育ををと口にされる教育者派先生へ借して社會的訓練をつましめよ」
と疑問多齢。

斯波男近く歸連

堂

食8599

大連市西広場岩代町入七軒目

道で

の有利さなる間で地方の一般産金製 に決定したが 無決定の代は年級八千国に決定し ・ れを記せば左の姫し ・ れを記せば左の姫し ・ 和を記せば左の姫し ・ 南吉本政吉、同社 ・ 南吉本政吉、同社 ・ 南吉本政吉、同社 ・ 南吉本政吉、同社 ・ 南吉本政治 ・ 同古本政治

者が採菓上根窓の北地にがため政南北地

水興金山を

ある

東拓直營

支那教

育視察

服部外務書記官

精錬所を設置

東北航務局長 任命

朝氏は兼低である外に

が第二十三記長李根成氏は魅存線 立第二十三記長李根成氏は魅存線 に駐屯してあるが歴長館が繋にそ の際下である伊通線と戦成大百六十 五酸に出動を命じた戯之に聴じな 十三歳長を発じ東北航務局長に低かったので照長官は李桂林氏の二

高祭男々我国への一部

は、なは今世一日二十五覧の標本 に東探會社では威南の売販金山を を上明年度より探験することになり昨秋以来その とでは、近探験について概定中であつたが歴 をというでは、近探験について概定中であつたが歴 をというでは、上海を をというでは、上海を をなの数では、上海を をなっながに、上海を をなっながには、上海を をなっながには、といると をなっながには、といると をなっながには、上海を をなっながには、上海を をなっながには、上海を をなっながには、上海を をなっながには、上海を をなっながには、といると をなっながには、といながでのと、といると をなっながには、といると をなっながには、といると をなっながになっながには、といると をなっながには、といると をなっながにないると をなっながにないると をなっながにないると をなっながにないると をなっながにないると をなっながにないると をなっながにないると をないると をないと をないると をないると をないと をないると をないると をないと をないと をないと をないと をないると をない

「東京九日数」交部省或門學物展 を核の数官状況感察球で、北三日東京 を核の数官状況感察球で、北三日東京 を検の数官状況感察球で、北三日東京 を検の数官状況感察球で、北三日東京 を表示して、北京で、大三日東京 を表示して、北京で、大三日東京 を表示して、大三日東京 を表示して、大三日東 を表示して、大三日東で を表示して、大三日東 を表示して、大三日東 を表示して、大三日東 を表示して、大三日東 を表示して、大三日東で を表示して、大三日東

ピンへ向つた『長春電話』 をもた李氏は八日午前十一時五分 でした李氏は八日午前十一時五分 四平街に新設

通鏡衛生課では今後内撃奥地さ沿

◆中川正左氏(前職道次官)協洲 事監同のため十日來連したが同 お問挨拶を遂べるこころがあった た時間挨拶を遂べるこころがあった 大内佐蔵氏(大連沙河口監察署 歩 長)新任挨拶のため九日市內各口 長)新任挨拶のため九日市內各口

40

大蔵大臣さらての#上氏には同じ 大蔵大臣さらての#上氏には同じない。 大蔵大臣さに配分を大遊岐した本殊に を 大蔵大臣さに帰住した。 は 大蔵大臣さに帰住した。 な

式の説明 ニニニ三三三八七後 大六六十二〇〇八八 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

-

的

長井印刷所

大連竜田町 ・ 竜21411番

る印刷

海京中の浦鏡駅間所被果はさきに 技術展深見監査役を東京に探致し に挑脳中であつなが大陸内地方面 に挑脳中であつなが大陸内地方面 でのお合はせも了したので十四日 が連ずること、なった。 香港丸で **乡** 豆柄◆後 即。場

を山総及が道線にては左の短く十 三日より監察送合列車を銀日一往。 二日より監察送合列車を銀日一往。 ▲打選線(打虎山一駿×間) ▲ 地票交線(商幣) — 養縣間) 本地票交線(商州 — 養縣間) 混合列車運轉 地場株績騰

况平 左

学度銀行シーズン中の具盤業に れて観彩版の影響により設館、歌 なは、ではれてもたがこの脈に就いては全地で のが必ば感じないさ 全地整然、第ついた日調で節々は散 野邊の井曜や墓地近し」 その姿も難も、整動に打ち神され でなりかは、裏しい数▲「軽緩き

岩 電話六四六六番 主案診男岩 重聚餘科保

銘 高級

なのか 0 沈東ホテルの遼東飯荘は………… 一、純北京料理であります 一、純北京料理であります 一、純北京料理であります 一、御宴會テーブル 一、海宴會テーブル 一、海宝會テーブル 「一、海宝台」 面 面より 会長に学テーアルは小人数、例子供方達に悪はれますと 「一、御勘定は小洋勘定」 金にて機算御支援下) **RYOTO** 0 0 日 A804 報

聯合會に提出の 二項目說明要旨 でして開發すべき主なるもの左 を低下せればならぬ、原料個 を低下せればならぬ、原料個 を低下せればならぬ、原料個 でして開發すべき主なるもの左

商議役員會で申合せ

で、で、前清後 中の宿弊は打破され、中華民國 中の宿弊は打破され、中華民國 本幸未だこの新趨野が集結戦固 ならこむでき中核なく、動揺に ならこむでき中核なく、動揺に

で、り大連にて養世人會を開き格鑑出 給出来るやうにしたい、その多か、大連融工會時所では十日午後三時 誘家の各項目に添ふる説明を認識である。ませずることを明合せた、配して同 衆中重要なる左郎三頭に転じ、如 既 神なる説明を添ふべきか、協論し 本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を農業 同、本方針さしては海洲を開発する根本のである。

郎氏に決定

全融機関の整備改善を 一、満洲に対ける日本間の金融性 一、満洲に対ける日本間の金融性 一、満洲に対ける日本間の金融性 でないますける日本間の金融性 でないますることに関することに関することに関することに関することに関することに関することに関することに関することに関することに関することに対象を心臓がある。 で変付か整理することに対象を対象でが表が、で変理された鮮銀と正金の業務を観点した場合とに満洲中央の業務が表示といる。

米

清鏡鉄溝案内所出低會誠は像年四月上領東京、職かれてゐたが、本年は時局の關係から親祭殿が根密、生作時局の關係から親祭殿が根密、年間の希望により二月二十日前後、京郷の希望により二月二十日前後

た本流石の井上氏とこちらの板領 には繋いたか、それこも幹り間々

一部間の 東京の 定、同理事が同地 でが、同理事が同地 出致、陸海軍お 五品代 創立 行會社 った、滞在野間は 一總會 伊藤久太

力をついけてるる複陸軍隊の慰 阿浦蝦代表さ 等授單光旭日童(各通) 等授單光旭日童(各通) 10年(十一特音を の短く十二特首を以て邀続にからた三階をにて寒落懐死した三階をに難し左にて寒落懐死した三階をに難し左 等 極軍航空兵少佐、叙從六位動五 等 極軍航空兵少佐、叙從六位動五 主任會議開催 鮮滿案内所の

仕事にならね、

日情し続れに、或場合は電響する手懸さへも弄した。 が動しついた、林科のされのため時には配き回って皮肉しいつ も井上蔵根の直話を降り 来の」さいふ終郷できるたる 特権がフィになる、新聞記者にば任事になる、新聞記者 へも吹きかけた▲斯んな った▲で仕がないので

金鳳堂各書店

ゐで供

▲抵網され

は大変大型さらての披露口氏さ同かい時でも一回に数す配合を を、表からその所職を叩き▲煩さ を、表からその所職を叩き▲煩さ がられるのも織けず、織がられる のも鍼数せず、つけ種と適つ脳酸は がられるのもにする。 がられるのもにする。 がられるのもにする。 がられるのもにする。 ながられるのもになる。 ながられる。 がられるのもにする。 ながられる。 がられるのもになる。 ながられる。 ながら、 ながら、 ながら、 ながら、 ながら、 ながら、 すべく凡ゆる無難なも敢てし の故郷口氏さ同 六四不七不九 二七八五五 四〇 三 五

不不不七不九八十八後 八八三三四月 由由由申〇申〇〇〇

一番 に、ボスターに、或はビラに 数日態度に潜む癌、排日運動は である。 または 薬は である。 または 薬は 変し の傷を除去せれば 単に 其の目的 は である。 9 には的る

その他總ゆる手段と方法を以て侮日に如何なる手段を以て宣傳をなしたか。を達することは出來ない。これまでのできてる。然れざ絶えず惹る排日の裏面

寫

院醫富 湍 頭取・材井啓太郎・ 電話·四三一番 鍛汗

0 頭痛にノーシン〇 光烟醫

地下室。

陽市 ホテル

滿洲總代理店 內藤 商店 = コニ三九三

かを…明するに足るものなり 原都島本醸造清酒にして開設以來最高金 金挂月 島本醸造

お庭

進を通る人は奥太爺さんのきれい なお廊を見てみんな感心して行き な

は自慢さうにいつもにこくして

さらいつて振向きもしないで帰り

ガンシヘダテ

イダ テナマ

V

"

他ばらたやうにずんく 伸びましてるた薬の中から若い小枝が手を きなの間じつさ辛越して元氣を養っ は

はかなひません。 気芸年のやうなしまられないでかられてもくとされいな形にされてしまひました。 気芸年のやうなしままれてしまびました。 対策さんはやつさ安心しました。

「我によく手入れが行風いてゐま」ゐました。

h i *

(49)

捧げつるいのちのまへに酌む神酒の耐ひ寒くしてこさほぎかねむ

3

高干穂の眺眺かに生徒等さうたひこさほぎも日ははろかになりね

○さほぎの歌劇かに澄ひびき消蒙の空ゆく響もなし

ぞ迎 3

驀進の大決心を愈よかためよ 家庭的に大いに祝 大日本の使命實現に

申すまでもガイーノー

れんさしては、活まてが彼の一クリスマス」には遠く及ばないのであります。 りまして民族師に見て超た遺憾に

遠つ離のみのりかとことうべとこそ離の國原もろことが

と土然る消景の空に光さ

◆浦州事題に際も特に感深さものあり

斐

は君臣にして懐は父子」なる師者

社會教化際際等の努力については教育者



用子女



禮原神宮の

真實

後村上院御製

高御座とばりか、げて機原の宮の昔ももろき春かな 二五九二年音の今日、泉祇峡武 変國の基か虚かせ絵ふたその出 郷國の基か虚かせ絵ふたその出 がは、明治二十三年に御造像 特許 生殖器障害 神經衰弱

科 内科兒小

入院室閑靜

醫學博士

目科門專

柳尿

病器

科==*淋疾、下疳、横 、睾丸炎 慢性淋疾科==肾臓、膀胱、尿道緒病

時物

生殖器機能障害 生殖器發育不全



性的神經衰弱

100瓦(國五額) 100瓦(四五額) 100瓦(四五0)

●超スピードで頭痛をなほす

時間の力を持續す。 製造元 發賣元

打撲痛、腰痛、捻挫に對する合

的新治療劑に

して一回の途布よく長

中耳炎,凍傷、

肩凝、關節炎

(大阪市東區道修町) 合名 合 社 合 名 合 社

胃· 喉痛· 肺 肋膜炎

呱

皮膚梅毒科——一般皮膚病等與梅毒 入院室完備——腎臓檢查、 電話七七七六番 膀胱鏡檢查應碼

おした。校長先生は歌っても庭の樹を見ました。校長先生は歌ってお庭の樹を見ました。それはきれいに城 分の学職を除ってあるやうに見まかせに伸げることを許されたなますでした。 まかせに伸げることを許されたな 「お隣のやうにお庭を作つてはざちへも立むりました。 「私はお庭作りがきらひです」 節元紀 子供さんにも ライオン協磨 戶 毎に 煉チュープ入 商 林 小 社会式株 錦本 尾古名•阪大•京東

だけいて留る「時」といる

人を吞む嫩江

數回の一

紅旗討伐いの急や報じた

他は大津警部補引率の下に十日機会を外我れに提索なく警覧をは

奉山戦線に異状

等兵 田中隊

◇政治家學

者其他

天津産地直輸入

井上醫院

窓に左記五名の戦

|| こうした樂土もあります 寒風すさむ奉山戦線にも 兩兵士安東で語る

「大きない」と、 「大きない」と、 「大きしめた事につき経常・他の では関本の名に依り地委會へ繋や人で、 を踏長の名に依り地委會へ繋や人で、 たちしめた事につき経常・総され、加の成野に登世人の飛ぶん学んと、 たちしめた事につき経常・総され、加の成野に登世人の飛ぶん学んと、 を動きの名に依り地委會へ繋や人の成野に登世人の飛ぶん学んと、 を動きでしまりが天事する転銭會常能の目時をへ決定する。 ないまででしまの強健派でで、 は関本に出席してはさの総候派の は関本に出席してはさの総候派の は関本に出席してはさの総候派の は関本に出席してはさの総候派の は関本に出席してはさの総候派の は関本に出席してはさの総候派の は登世人時間となれば大連城に戦場、 は登世人時間となれば大連城に戦場、 は登世人時間となれば大連城に戦場、 は登世人時間となれば大連城に戦場、 は登世人時間となれば大連城に戦場、 を記されば大連城に戦場、 を記されば大連ば、 を記されば、 を記されば、

軍無次視察の含め飛来せる平壌飛

安東婦人

人たちの

附記 時局記念のため、希望者に限り引 ・ 場所 安東 安東公會堂 ・ 場所 四平街 四平街 隣 ・ 海楽谷地に勇踊の皇軍 ・ 大海隆駅隊の皇軍 ・ 大海隆駅隊の皇軍

り引伸寫真の豫約の注動外四百餘點星軍、匪賊生活の

大連市西公園町百五十三番地大連市西公園町百五十三番地大連市西公園町百五十三番地

- :

•

大連市派達町 電記13人会会 地に間宮式其他手提金庫豐富

ラヂウム温灸器

1.

目覚しい活躍振

慰問金品に献金に

滿洲日報安義支局 滿洲日報四平街支局

>熱辯は腹壓を高くす

時局寫眞展覽會

腦溢血·高血

壓

2?

日時二月十二日安東

午前十時より四

>死亡卒倒率 高い年

豫防と治療を怠るな

特人病、内膜、喇叭管、卵巣炎、 野腸、センソク、神經痛、胸氣 大連市震速形立丁目二百一番 大連市震速形立丁目二百一番 大連市震速形立丁目二百一番

凉 傳家

営典の

本中學校年前八時十分國族協議 一切工作生は校庭にて機社會課職合婦人會では今回第三 「別式へ、五年生は校庭にて機社會課職合婦人會では今回第三 「別式へ、五年生は校庭にて機社會課職合婦人會では今回第三 「別式へ、五年生は校庭にて人。」 「本足の由であるので無顧圖書館院」 「本足の由であるので無顧圖書館院」

等 その敷六萬册に塗と谷配布先より 非常なる敷型と戯説・受けてるる 非常なる敷型と戯説・受けてるる が戦線の逃返につれ最早配布職書

で不見れて、一日午後七時より賞さい、一日午後七時より賞さい、

派遣されてるた撫服

口田|| 地多議長

は解任か

った、我軍は帰郷、食機、麒漫院 の出跡を表めんため販金を高騰門 に急派とたが自動車には数ケ所の に急派とたが自動車には数ケ所の で、他の郷に終した安東当帰院で

今日は紀元歌――神武天皇御郎他 以來第二千五百九十二年日の慰園 以來第二千五百九十二年日の慰園 以來第二千五百九十二年日の慰園 以來第二天上院職元號的欲賦符會社 一等一賽に休樂し今日の住き日か響 等一賽に休樂し今日の住き日か響

陣中文庫募集

紀元節拜賀式

公共機關聯合會發起者問題

九日も遂に決定せず

我警官隊

匪賊ご交戦

協議されたが此れ又解合してある

全滅を覺悟して

「泰天」既継板像子西南方統一里の際安嶼部深に然て九日午後四十分頭一旦販走せる駅駅より速度を対けた、め同地に起いてゐた紹天野の警官隊に卑膝と協力して之が、歌歌に於て鉄人男一名変形を接近上で、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の後略速したが、大変戦の大変戦争という。

とての活躍は特に目覚ましいもの がある、近くは婦人際に依つて満 洲の野か飛翔するなが號の客贈の 勝きへ起り之が容所がについては の野か飛翔するなが。の客贈の

を 選したが難し頭頭に抵抗せる等の 八を感じを敷の 画種説を喰めて繋 古枚撃に震滅し骸戦の標果酸六十 低 古枚撃に震滅し骸戦の常果酸六十 で 八を感じを敷の 画種説を喰めて繋 がったい かんが しょう はんしょう はんしょく はんしょく

外科性病痔疾

大連市岩代町十香油 電話八五九九番

淡 尿 器 病

生殖器障碍

に壽堂醫院。

性病 物香淋灰

である睡賊は約八百名により衆 れるびせかけたので弾丸雨の 来なくなつた。今は全く賊鹿の 来なくなつた。今は全く賊鹿の 来なくなった。今は全く賊鹿の ないに包閣され進退谷まつたの ために包閣され進退谷まったの

意を大隊本部に報すると 路第三棒隊第一關第六營第四連

慰問

民客伽の摩帽さに相俟つて諧婦人屋被の如くであるが之に依つて市屋被の如くであるが之に依つて市

では事の如便な問はずにもならうだまか多数の販れ周圍に受け夜さださか多数の販れ周圍に受け夜さださか多数の販れ周圍に受け夜さなく「スワ販販表だ」されく書きなく「スワ販販表だ」されて書きなく「スワ販販表だ」されて書きなく「スワ販販表だ」されて書きなく「スワ販販表だ」されて書きない。

因に戦化せ

や狭心能を起すばかりでなくあら、時であることを思れてはならね。性の発生動態が悪化すると臓器皿、時であるから徹實來が一層必須の生の発生動態が悪化すると臓器皿、時であるから徹實來が一層必須の

時であるから海費来が一層必須の体験の充態

▲御電話水第御扇け致します安いさ皆様の好許

大は弱力がなく折れ易いと同様観れている。

き械力

東東の甘栗

ゆる早新性老技術となる、堅い老

▽腦力、體力はなぜ衰へる

東東 能量可七八

亞

三九通西連大 甘五七五八電

知りの四五十才の報さで日近不養 大き用のて電影性の様にを治院し 大き用ので電影性の様にを治院し 大き用ので電影性の様にを治院し 大き用ので電影性の様にを治院し 大き用ので電影性の様にを治院し

ある事は聴着だ特に連者の喜びに動物の意がこの方面に注がれつゝ

な 腰さ眠ばれ獣命の御賦きありがれると るやうな優しい命令が養せられると 気臭薬粉土谷位、この監髪に土 にく臭薬粉土谷位、この監髪に土

かり、女は食品とたり様々のが、他になり、女は食品とたり様々のが、他にないないである。 なばが起ってくるのは其質である。 なばが起ってくるのは其質である。

皆々様の御勢苦を慰めんものさ

に行ばれてゐる難い賜である 中レコードが鳴つてゐる。何か 明つてゐる。何だか版例は出豪 ださか、移動ださかつて、物情 が感が、移動ださかつて、物情

(数当) 旅一城等一中隊一等兵隊 形利一氏は楽勝附近に然て呼暖形 が利一氏は楽勝附近に然て呼暖形

▽不眠、不安、

恐怖症

SOP STATE OF THE PARTY OF THE P

心色を慣み東京を多く個り流費派とする。かやうな時には芝味芝介。

洋服類態裝

抗後屋頭店

濟生醫院

お師品セハ六七

こり耳鳴がし眼が、かすみ、めま

うな語伝人は治つてしまか を持續的に用るて居れば前記のや に開店「総廼家」さ屋號を載き上

「族順」 技術方面の日支触突に関するすりを方面に於て手別け分離に なって手別け分離に がでまれた は 中でなりを方面に於て手別け分離である。 できなりを方面に於て手別け分離である事となりを方面に於て手別け分離である事となる。

錦州邦人料理店に 版。発す同胞を能長た思ふ時盤とき心 出来す來るべき則日か追想とつとる 出来す來るべき則日か追想とつとる

三人組强盜闖入

金百餘圓强奪逃走 協力と捜査中なるも未だ破人手掛。 を表は、より直に總司令部に通知とた 意報により直に總司令部に通知とた 意報により直に總司令部に通知とた を表により直に總司令部に通知とた 逃走した姜利はは此出家人に知ら

の機に觸れ腕を続つて作つた名歌

さ云ふ「いや二十段出そう」さ云 時のてるな、十段で置らないか」 時 クでは、 の皮を剥き始めた、 のた、 なし版に見た主義の値、 まった、 なし版に見た主義の値、 ないの皮を剥き始めた、 のは、 ではないを がいまするが ではない。 ではないを がいまするが ではない。 ではな、 ではな、 ではない。 ではな、 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではなな。

財館機及び搬室の手入れを得めつ



死傷者

(2)

査物にあらず

五原。それでも誰も質るさいふ者をは其の代質難く然れ五国さ二銭

これが戦級から際された安來節次

務局長送別會は八日午後丘寺三十八次順一、後順一、旅順官氏有志の三浦前内

三浦氏送別會

和らげられる、腎炎血中風も強防・はよく寝てゐる間に破労は一部されて、蛇野・たれば脈脈を終しる。

・ 世界脱有名なる被賛派を常形する できる交治館がとよいて、飲食も できる交治館がとよいて、飲食も

1670

ミシン機・蓄奇機ル型活動の原機ールンズールンズー

▽海

最夏の統率法

医野田工大學長是谷川県

下内務局長土屋

道路測量進捗 に 原務等に通する道路 の如く着々進行 し二百餘に選した

九日午前七時より石川投の職員所は三盛のトラッの職員所は三盛のトラッの職員所は三盛のトラッ 山農商職合會の二線堡

代理店

東路ニニニ〇二番 日

海貴來の適應症 一十圓、飢使カワセか振着注文は一十圓、飢使カワセか振着注文は一二百紀人十一圓、二千四百紀人一圓、四百八程度 百九十二紀八二圓、四百八程度 百九十二紀八二圓、四百八

職類河 合 洋 行 電影河 合 洋 行

口病理説明書申入文第無代准量











林農園山羊新族順市外方家屯 **に何よりの榮養料** 恒 等 海 達 山 次

三品版

学服附屬品並上釦類一式 都官衙御用 中山洋 服 整核網絡定 中山洋 服 市乃木町三丁目

動物で 特別: 万震屋で見た 一般管理 大山道・宅店東木路

▲女學校御指定服地 服服 でま説大りよ號一 空

● ● 小

病

●セル、帯側

●高級 昨年よりお安っ

四三〇

順

dit.

亭

松

町東青市順張 商野

外の服洋紗羅

いさ下較比例が段値を物品

吉

町

振林口座大连三八五四卷 態 順 朝 日 町 市 場 內

海產物問屋 陸海軍御用達

食堂満

敦賀町

餌かな家庭的ホール サービス…是非一度…… 日支 英 料 理 さ 献 身的 食酒に御批判な賜りたき

千代田生命保險相互會社 代 理 店 三〇六 最新峰火災海上保險株式會社 代 理 店 -矢 電話三 合

旅 石炭商·倉庫業 順商店

大達近江町西広場角 電3910

軟性下疳

天高等女學校では十四日午後一

高女の音樂會

和田中將慰問

※に死亡したので入日報祭場に於 等し入院中のさころ七日午後二時 等し入院中のさころ七日午後二時 一選に死亡したので入日報祭場に於 て佛式台別式を行ふた

本、村井、米盛、文塚部野並、 ・北、小柳、墨熊部小林、尾崎・ ・北、小柳、墨熊部小林、尾崎・

任する事さなり又後任新署長牧田は十日午後二時数列車にて出数数

太緒蔵氏は同日午後一時着列車

彌吉家の不幸 気房店件

生課主任に祭帳した佐藤推助にお房に警察署長より開東殿等物品

新舊署長赴任

家に黙し交徴で、べき我総派政策に数を不願談では九日午後二時からの新は

日

商議役員會

天

宣政氏一身上の都合により解作由 っ公會堂に然て總會開催館長院渡 の公會堂に然て總會開催館長院渡

青年團總會

出の他を整つた総集を塞好氏が満 出の他を整つた総集を塞好氏が満 出の他を整つた総集を塞好氏が満

新皇子縣を振り出しに二十日珍管 一会中間縣及煙家保院所場間の西 一会中間縣及煙家保院所場間の西 一会中間縣及煙家保院所場間の西 一会中間縣及煙家保院所場間の西 一会中間縣及煙家保院所場間の西 一会中間線及煙家保院所場間の西 一会中間線及煙家保護所場間の西 一会中間線及煙家保護所場間の西 一会中間線と同じに二十日珍管

陽地方事務所社會係では十六二

中間驛を慰問

高谷係長轉任 聯殿地

や中文庫の内二百餘點を配除する。 能経でするので此の程来身集中の一般にないのではの程来がまます。

時局委員會

昌圖に市民會

外七名 外七名

紀元節拜賀式

紀元節祭典

市中八日昭和閩で催されている。

日案内

線店

ョ

2000 附家

^{込勋}添政

派遣

讓店 附電話其

反放かなり関しか

長三層様上時ならの暖野が駅がる人
三層様上時ならの暖野が駅が、社客の総で和線売浦一寸前のない。確含を示した人をごで内を開催の有志連目下伊大を筆頭機の有志連目下伊大を筆頭機の有志連目下伊大を筆頭機のある。

三拾錢増

子供

大山通

一番。第八九四八番

塵紙

原

ける紀元節祭典能に祝賀

奇特な初年兵

要に家常と野原へて早くも は、一般に家常と野原へて早くも 度に家計を節約し聴募用意を伝

機「滿洲號」整選頭に概念した。商同組合では近小婆の後記會した。商同組合では近小婆の後記會した。商同組合では

するの一族野鷲ヤンヤくのた。 は 士より高いチョイく▲一座三十 一般名の一族野鷲ヤンヤくのた。

寫真修整自信有る

沙河口西町九五藤原

天帆 高級紙生產

限おる使

白帆は此即に限

組合長には新らたに澤田寅二郎 氏(食堂キムラ)就任副組合長 はつぼみ橋本萬助氏重任評議員 に石川清次四(子成クラブ食堂) 森谷刺太郎(大点屋)阪本大三 で、食堂・ムラ)就任副組合長

一天の下たくひまれなる富士の山町を 脱ふはく 「玉の浦ふり上げ三浦子 席上日下氏炉幌印作の鴨緑江町か

市場會社總會

第二の反抗

(147)

寛貞 心得ある人

電話呼出二一八〇一

大運市西通三五季水月競債会

邦文 印書 一

事態需

番

ま 充實に備 られ い

電話七八五九番

圓

電話呼出二一八〇一

B

す

次の際にいる

ミシ

古本高價貿人、

沐病 精合

算盤の御用は

を開館事館では紀元経常1午前九 ※陽領事館では紀元経常1午前九 兩殿下感謝式 口

長に伏見宮殿下を京職と國民はの窓室殿下本年二月二十二十海軍を会会 概感謝式を非行したる地方あり供謝者く能は下湯洲にても其常時点 職社に於て感謝式を集 佐校子は喉までこみあげてくる を校子は喉までこみあげてくる 必事をして下 「それが、あなたの僕に對する返

出すのが本盤だつたやうな縁がす - 「大方、今頃は、どこかの男さ、「突然! かもしれない。しかし 「仕方がないちやありませんか、「突然! かもしれない。しかし 「仕方がないちやありませんか、「死だ! かもしれないもの」 「………」 「何故り」何故もつさ、機様院に「ち殴つてにいんですもの」 佐枝子は、佐枝子は、

店

「同機が少し深入りした程度で 金剛

一あの時はさうちやなかつた。で
一次一は自嘲するやうに云つた。 あんなにまで想つてるたひさな あなたはし だんく理智能に立 女中 入用十七八歳迄の者本人 本 大田十七八歳迄の者本人 本 大田十七八歳迄の者本人 常深隆二 電九九〇七 常深隆二 電九九〇七 常深隆二 電九九〇七 常器桶天滿屋ホテル電七一五五 常盤桶天滿屋ホテル電七一五五

商品 穿髓染信息

衣

山無通日本タイプライター食耐が、 (午前・午後・夜間) は大 業婦設用 さかひや 不用 品親切本位 貸衣 裳 日陸町 常陸町渡邊南天曾 不用品

禹 買

下宿

郊文、タイピスト 短期養成 フヨ 品高慣覧受

爺 卵

清トラリ越荷物運搬

トラ

電四九一六番

三河町 池内 不用 品高價買

開和 最用文代表的の 完備・学

タイプライター

天輝清剛一五

琴古流

安家 二十三風三室風呂床付 直藩町八、八九 電八六七五 直藩町八、八九 電八六七五 東部建島級外賃十圓以上 **技家** 家實十八個地 **金融** 美濃河九五景 便に即 古着其他小不用品質で 金

全融 信用電社員公 西公園町越後町入園村 西公園町越後町入園村 **簡易** 保險即日立禁 大紀 人國等實店領 大流 至嚴 聚人但馬縣

ピア

在第章

ハカリ

也院

くまいぞ

ねつさませ

0

漢域町二丁目裏通 日露汗行 電五二九三番

牛乳八年

天津 ボーズ

牛乳

光古金庫 電話四五五二番

强力治林新樂 製造販資 吉川商店 大連市信濃町三四 東京 三十球 音側五拾換 東京 三十球 参 側 五拾換 東京 三十球 参 側 五拾換 東京 日本 橋 東 局 東京 日本 一橋 東 一局 東京 三十球 参 側 五拾換 東京 三十球 参 側 五拾換 東京 三十球 参 側 五拾換

各種仔犬、未成犬、 成犬あり 大連市西頭リ六十三 大連市西頭リ六十三

下宿

五八四九番

にく葡萄酒を

温性感冒流行 四ツ目中 にんにく葡萄酒を

か河口販賣所 型 か河口販賣所 型 が河口販賣所 型 が 一 国 也 別見旅館實費にて御預り数とます 安 信 會 主 産婆 淺 野 静 子 産婆 淺 野 静 子

電話が芸書を対する。

明治

特製 學城町六七灣話三四 紀 餅 赤 飯

鈴木丈太郎

强附家

自動車装飾 本 衛 衛 衛 衛 御 用 達 節 會 言される

電記七九〇三番 ヤナギヤ

專業

(家事一切病人附派)

待ち乗ねの評 判の良い を 始

お 西廣場 知 6 L 12 六**請**

南脇を割せず、心臓を保護し、関痛を動め、動作用なく、穏や 付けば、何でもよいと思ふのは大きな間違です 社會式株堂天容

お 永久に保 0

0

火の 用的 程制温の出来るのではつ

遅かつたんですも

題しい口

あなたはま

「ハ、、、そんな調がありません

「お眠の前なら」

一個に共相談に来たき 「迷いこさがあるもんですか」

「便を想つてるなら、居所を知ら

貨家

三人、階下六、二

あなたは事美さんの

艾室 電話六六五〇

大黒町六二番丸警院電八七八大黒町六二番丸警院電八七八

電ワ

飲食店總會

編、木炭其他くある 無本線、総ネル、モスリン、流脈の 無本線、総ネル、モスリン、流脈の 無本線、総ネル、モスリン、流脈の は、木炭其他くある

一は一寸表情な選続させたが

より前年度の庶務會は報告し食店組合機會は八日午後一食店組合機會は八日午後一 「わなたは、あの時、さても実験

なんが、れし

にはちゃんさかつてまずし

遊者は三河町正直洋行 原下宿城其他

西公園町六九 雷

にかつを下げるハカリ印のヘブリン丸こそ後のかぜ

新築州佛教職合會主催の福州事は、大学、在川知事、府内官民、播
、大学、在川知事、府内官民、播 戰死者追悼會

泰天神社祭典、終天戦では左の短く無数を執行する世代元節祭(中祭)十一日午一十時、新年祭(大祭式)十七日午前十時 兩警部挨拶 の献氏は九日祭方蔵を配を取る。

全論一解答地において教主する軍 「一般の見能において一手中域能り、 全三個的の見能にないて一手中域能り、 全三個的の見能にないて一手中域能り、 を三個的の見能にて全観山、千山 で、といるにて全観山、千山 で、高いで、中小學校、清優 で、高いで、中小學校、清優 である。まり五千個を飲金 である。まり五千個を飲金

滿洲號の献金

大石橋野祭聖長に愛報した小阪駅 無事者任在奉中の御後後盛識と かまり九日左の知き謝電が來た 部より九日左の知き謝電が來た

田園花瀬戦人會本部融會長和田總 一田園花瀬戦人會本部融會長和田總 一世継一代は十七二年後二時廿三 一世継一代は十七二年後二時廿三 一世継一代は十七二年後二時廿三 一世継一代は十七二年後二時廿三 一世継一代の上数十八二 年前八時四十五分数弾車で南谷の 一世継一代は十七二年後二時廿三 一世継一代の上数十八二 年前八時四十五分数弾車で南谷の 一世が一代の上数十八二 年間での記載しあるさ

小阪署長謝電

建國祭遙拜式

一月小賣物價 「便年も前に――さ めなたの担否の理由に わなた

が、つたかもられないわれ。 起もその 「総版の前に――なら、何故、そ 「総版の前に――なら、何故、そ 「心の時、僕に、云つて見れなかつた ちんです」 には、なり得 に 説。 単純に考へたがか――」 ませんか。それより我々は現在のませどうでもいゝちやあり 「それはごういふ意味り」 「過去のここでなかったらざうな

い日を送つて居るさしたら

門札 中三階 電六二一七 五 覧生流議曲 懇切に手ほご 野馬町四六・呼出電七を選手を御利用下さず

牛乳株式食社館四五三七番

學校。成績

限の他まの時にはすぐ

新雄、銀力、籍物細工 対域、銀力、籍物細工 、銀 選 選 報 数 板 製 で 数 板 製

古市運送店

"

ri

in

佐藤建築事務 電話風八九七〇番

何卒御用命の程を

帯型業吉

溢

價 正 症

精疲神結榮

金金金金

力勞經核 體 蒙性性 力弱性性害 金一週廿錢 のの諸諸諸 増恢 進復症症症 十五二一 四周周周

ラボカは肉體を根底から改造强化する世界的名葉である その偉大にして急速なる薬効は豊富强大なる榮養と相俟つて絶對に他の榮養剤の追覧にからも朗かに幸福が湧き上る 宮底からも朗かに幸福が湧き上る 宮底からも朗かに幸福が湧き上る 宮底からも朗かに幸福が湧き上る 宮にラボカことは人生をして永遠の青春に生かしむる 精力の源泉として近代的家庭に飲くべからざる家庭

需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す

普及鑵新發賣

正 價

圓

るため普及用として一圓鑵を 新發賣致しました

何卒御愛用の程願上げます

洋

向上と御使

位。

酸"看"玉花"

御愛用を願ひます

究と努力を勵したれまる終は

す 花玉石鹼が不斷の研究を を力割九分四厘を示すことに 度九割九分四厘を示すことに があるででは、 を な管理と検査を經て 純粋 必要なものを極度まで少く石鹼を作るには石鹼として ることが技術なのでございま

王石 酸は日々焼まぬ研 有餘年品質 んでをります りま 價*格 錢十個一價正 阪大·會商瀬長舖本鹼石王花·京東

四·九九度粹純

战艦のての総代者でも低等の不要はないさ 『富英はきのふ大連聯構内で職成されて吉長線内の乗務就は全部吉長局紋が飛込むが車掌は何れも日本師が出來、の下り弾車を處安弾車さして際始されたが、吉札が配への総密増加の指統答が

吉林行きの處女列車

監察列車は十日廿二時大連監察列車は十日廿二時大連

報

の如きは「影響に懲し惑愁機まり

身邊を嚴戒 重要人物の (UBINICAL EN)

有力な實業團體が

米官邊哀惜

の恐報につきアメリカ国務省ジョ

暗殺

ージ。モザー氏は 非常な信用を博してるたのに情 非常な信用を博してるたのに情

に悲しみ又國務大官キャツスル氏

敬意を表してるた ・

市出動の

來る十五日東京を出發來滿

り満蒙視察

日本商議主催·滿洲日報後接

ペマオる諸家が母国のこの有力な 野忠五郎氏(建築業)神谷國繁氏の の像定で、今や魏聰の緒に就か ◆日本土木建築請賞業者聯令會管 へ養道關係〉 ◆強道關係〉 挑發的廣告記事口

團體聯合會算正太郎氏

人阪商議職 貝藤井滿彦氏 (吳服

は左の短くである は左の短くである は左の短くである 電流へ▲二十四日舎胃電ででいる。 「日長春歌、吉林親察一泊▲二十 日長春歌、吉林親察一泊▲二十 日長春歌、吉林親察一泊▲二十 日長春歌、吉林親察一泊▲二十 日長春歌、吉林親察一泊▲二十 と野親察長春一泊▲二十 一日四平 國銀行家順の經大なる同能な書き はい が新聞は形上氏の光輝ある骸部を 第二十 一日の一 の銀行家順の経大なる同能な書き はい であまり、一下ン九日登 前 一直を では、 であまり、一下でいる。 であまり、一下でいる。 であまり、一下でいる。 であまり、一下でいる。 であまり、一下では、 であまり、 ではなり、 であまり、 でもり、 でり 上樂協會昌山一清氏(機械 英國新聞哀悼 葬儀當日私邸に 勅使御差遣

の通夜を行った

パ大連市聖徳街大塚正雄(■) が予まが發張したもので前記三名の

旅大兩署で

である、括弧内は谷代表産業園館

葬儀は十二日執行

今後嚴重取り締る

#Limight 當局方針決定

拳銃の出所 漸~自白

歐米有力者か

ら弔電

に四谷區の寺田より入手したさ言に四谷區の寺田より入手したさ言 は除りやつた。

社會事業團體に 親國は橫須賀市及び茨城一村修造隊の檢察は影秘大連署にて一

郷里で練習

光榮の州内十四團體

衝くに至った。

犯罪內

封下賜

丁三酸糖、女都所管式十三酸糖、素信所管二酸糖、招称所管、足私館社會事業膨低、內称所管三百十六酸糖、司法所管百九人取食、司法所管百九人取食、司法所管百九人取食、司法所管百九人, 餘)御下賜の御沙汰あらせられその戲戲名は十日午後 薬御塾駅の思語を以て金一封宛(計二

設けて

モヒ密造

場

昭和洋行の残黨が

巧みに官憲の眼を掠める

けふ紀元節の 陸戦隊の市中行進 佳日

味の昭和注行が呼ばれた

察局の指揮ないざ、井闕城察官立

歌、軍人會六百七十八名、計画生、 をづ午前九時中八雲陸戦隊、在総軍人會。 大戸殿代進ルでは、立ちな力に際し 生徒は全蛇武装姿勇ましく市中の 大戸殿代進ルでは、こさ、なつた、 大戸殿代進ルでは、こさ、なつた、 大戸殿代進ルでは、こさ、なつた、 大戸殿代進ルでは、こさ、なつた、 大戸殿代進ルでは、こさ、なつた、 大殿場、前町町を大連神社して ・ 世様は全蛇武装姿勇ましく市中の 大原場、前町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大連第一、第二中學、大連衛 ・ 大座場。神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大殿場、神町町を大連神社に ・ 大座の ・ 大連第一、第二中學、大連衛 ・ 大連第一、第二中學、大連衛 ・ 大座場。神町町を大連神社に ・ 大座場。神町町を大連神社に ・ 大座場。神町町を大連神社に ・ 大連衛

全滿無段者團體

柔道爭覇戰舉行

十四日大連道場にて

鄉軍青訓生等心參加 の事ではなった昭和学 になった昭和学 の事ではなった昭和学 を大連集学

樂部工催のフイガアー談響會は既大進ノイガアースケーテインが俱 氷上講習終る

團佳

即重物用二……脚手土産二……脚客席二……

人の野流 大連一中二中職 大野小西佐藤 一中A組へ 大野小西佐藤 一中A組へ

部(滿鏡機育保

をつかんで攻め入つたがシニートをつかんで攻め入つたがシニートなく付りフェニッ 欠五ートがく付りフェニックス 若続するも窓に二十九新十九

はないので独電観磁局はそれぞ 名前まであげられて過費をやか に解へられて息るが用心にもく

牧ラエン ないしばらばチャ 歌七さリードして居たが後 いさあって本社では直にその手をいった事があるが今度もまた。 中から金十個を離出し「誠に九中から金十個を離出し「誠に九中から金十個を離出し「誠に九中の一型ですが」さ本社領に既立るが、命絵なぞの一型ですが、一本社領に既に九中の一型ですが」されば続いていません。

○去る五日井上氏の窓路を酔きた一無し氏を狙つたさ自由した「東京十日数】井上葉之助氏狙撃」る際継を置え新聞で自動車を知り 邊業銀行偽造券 五日から狙つ 札幌から密輸行使 味五名を逮捕 けふ内容一切を發表 犯人小沼の取調進む 五六日前に至り 五六日前に至り で変権取職へのが 開始した結果、 大連署の手配で檢學 連署より一覧に数数では要素とのおり一味五名を放大に、一般にも共便者のおり、一味五名を放大に、一般にも共便者のおり、一味五名を放大に、一般に、別様に、別様に、別様に、別様に、別様に、別様で、と、そのの数本を対し、とので、事件のから、おり、別様で、というない。 本橋香油・ に変げれ安置された『長春電話』 ・ で変感型における影響に名動の戦ニ した、騒響にはは、支重人参戦出 した、騒響にはは、支重人参戦出 を急げた十八撃士の遺骨が鎌巻い が変とはは、支重人参戦出 を変がなっているの場所なかれ に変が、 to 金牌受領 張臺子不安 者長春着 双城堡の戦死 守備除出動 販原約六百名は 大及び中國人發銷者に對し能粥を 一行が就中大連配較所においては同 郷し一般年以前に向ってゐるが思議 後年以前に向ってゐるが思議 を行ってゐるが世懷さ相俟つて製 後一般一般一般一個一人發銷者に對し能粥を 年十二月中間より二月末没日本 大連庇護所世界紅卍字育大連分會 慈惠資金交付 飛行除歸奉

湖州四一一一一一一

日員募集

電氣學校 公認

時典を得る

呼吸器障害には

0

本譜習所修了者は開業の期間二ヶ月隨時入講を諸

にて討伐に出源され、煙薬等四中にて討伐に出源され、煙薬等四中

慶福會も交附 ム欧州祭費さし

學學 三歳の老人、公

2 十圓也の献金を本社を通じて 一園也の献金を本社を通じて 一般で五圓、野館へ五圓、併せて さして現に昨年十二月にも軍の泰公に関する方志を選すが ● 電登町九番地 ・ 一下三階建六戸 ・ 一下三階建六戸 ・ 一下三階建六戸 四希望の方で電

東京風菓子謹製 日本各 界各 挗 ン酒のの り素素豆豆 地名 ■りの付味*上苔海きやw 酒 産 類 食 00 6085 226**6**0

おでん

演選町一の御間丁 二人前二十錢 間七四二九番

多小に拘らず御用命顧まず 地の 白 糯 gq. 米 商

3 安東米

動楠トランク 西洋家具亚=室內裝飾 藤 椅 子 類 製 造 販 賣

御中食 小鉢物

三十錢少 十五錢

> 頭痛 ーシンの

神仙松葉食

(松の翠)

滿鲜一手配給元

大連市播劇町二二一播劇町電停业入駅給元 佐々木洋行

大連市伊勢町四四

大連市西通九士三番地大連市西通九士三番地

營業所 マンチユリ ネオンラ

眼科醫院

一人淋しく海を越え、アメリカ仕込のスタイルで、優美な光彩夜の女王、色々の別なく、無言のまゝの微笑で、道ゆく客がなく、無言のまゝの微笑で、道ゆく客がなく、無言のまゝの微笑で、道ゆく客 9

滿洲醫科大學醫院

護

婦養成所

ネオン、

サイン

にあ 0)

商店街の 興廢は

八七五八話電・結構盤常連大

+++

本舗業の部本舗業の部本舗業の部本舗業の部本舗業の部本・一番

▽全國

各

藥

店に

あ h

號六十六百 = 千 こ間えて来ない。よもざけ心無味としている人の心臓さへ飛 うばの假館は闇の中を戻つて楽さ立ち止つて訊いた。すると、 を下りて見越したが、ひご

-[2]

見そ一二期間傾けて服用すれば其効果は速に駆はる。 其の他が何ほど、態度項目の呼吸器疾患のたんせきも

一百日せき又ははしかせきの小兒

借九六八七話電

m-

一音撃のかれ又は咽喉の痛な人

鼠

職是

一流行感冒よう起るたんせきの人だんとて常にコキンコキン悩む人

九第 (日曜木)

が、そんな不能は今のよもぎに取っては何うでもよいここだつた。 およい、たど其の人の日から、 すな 大野彩雲の戯の被人さ、その一路 二三四五六七八九十

龍角散の適應容體書

大人も子供も病人妊婦も服み易

効果は最も迅速く

経對に副作用なく

B + 月 _ 年 七 和

はうけの態度を真似てなるが、優慮の下には若い既の財際が驚されてぬるが、優慮のではないから間にかけての強く太いわたりから肩にかけての強く太い

はなかつた。秘密な戦へてくれなかった。秘密な戦へてくれ まであることを裏書してゐる。 こつくり壁のやうに聴えるし、 だには男の靴をはいてゐる。 がも外まれた踏んでゐる。

舞踏場の窓の暗い部屋にも其の まで知つてゐるのが腑におちないなめぐつた。 しい。男とすると、こんな綴い監察がれるまゝに、殿間にそふ處 謎はないが、何うも安ではないら はの優麗がこの家の細いさころまで知ってゐるのを不思議に思った。 学館の女なら知ってゐるのに不思議に思った。 で知ってゐるのを不思議に思った。 はないが、何うも女ではないら

せきは呼吸器へ直

接に衝動を

與へますから

亢進み、遂に肺炎、肋膜炎、

錢十三價定 粒百四附器容 P-J

沙州

幸校

日

满

京 力でズンく 肺結核に變症して取返しのつかぬ事になります。 苦しくないからと云って、拾て、置くと、目に見えぬ 雅ったら直ぐ治療しなければ不可ません。さまで る水の管の壁えるさころへ來た、「もう此處まで来れば大丈夫だわ」さ山うばの酸は立ち止まつて 人は除手元らしい、水消極から膨出まつてあることが出来なかつた 行かなくてはならないわ」 分の家の一部だから平穏で奥へ行 本當のあけみなら此の洋館も自 野想多 (193)ては、あなたの秘密に知ってる 相手が今何んな位置にゐるのか、 柳

(八)

にでいまして付んな人間であるか 山越の配の後か追びながら、その よもぎは大きい期待か持つて、

疑はしき人

文館發行 文館發行 文館發行 文館發行 大文館發行 日本國民禁酒同盟愛行 東京市四谷區愛住町三七米之友 知識普及曾發行 知識普及曾發行 知識普及曾發行 知識普及自然,東京市外日暮里町 ア五三全日本ハーモニカ聯盟本 部

放送り 連。

丹 (二月號) 定價四十錢 (二月號)

から、おためらひなく、 角散をお用ひ下さ

况して頑固重症のたんせき、喘息病は、直ぐ 龍角散の徹底治療をお施しにならるとやうお薦致ます

定價查圖



귀약인 삼뷔리민 B를 비혼

理が重くの映爽を康健で削一円に 健康の資源として 健康と抗病と生活力の增進を、最も簡易に薬効から求め 之は、夙に幾百萬の方々の生きた經驗なのである!! 胃膓の保健として 新到底他の追蹤を許さない。 保理想的の保健剤で、殊 七丹はビタミンB、 社交の身階として 仁丹の健胃効果は、既に定評があり、胃弱者の持薬である 然から七丹獨特の芳香は身心を爽快にして明るく朗かな 気分を養か源泉であるが故に是非活用されればならぬ 格を高め趣味の上品でを偲ばせる。七丹が社交上必需品にかる高め趣味の上品でを偲ばせる。七丹が社交上必需品 たるは其為である。 、朝鮮人蔘其他の榮養と高貴な藥効を 唯一合理的な手段であるをして 殊に隨時隨處に活用し得 價藥丹仁粒銀 富士容器附 御德用(叛入) リード容器附 三百二十粒 二千二百粒 百五十粒 百 千

Er 61 67

病致命的の

(日曜木)

も なはない、 支はない、 支はない、 支はない、 支はない、 支はない、 支はない、 支はない、 支はない、 支部財産を の生命財産を の生命財産を

新、日本その他列國 那、日本その他列國 那、日本その他列國

行場際正な希望する處わり、でサイモン英代表は日本軍の

原は日本の支那

持して居れば各が完全なる秩序

をさせる

といふ脱線振りで一向にといふ脱線振りで一向に といる脱線振りで一向に

おを観響させた

事實を擧げて逆襲され孙外運動過去數年來の職されず、郷で原願代表より

ても公表 原北海九

新裝の一

縮會議々場

8に方法はなく、日本 と兵力増大による局面 が長力増大による局面

日本の軍事的活動を承認 選を強行せじめるために 関がこれを受話しない場

大吉丸射撃さる

龍華航行中支那軍に

中 ばいかる鬼にて離連したが地頭に では管民名士多数の見送りで眠はつ た、地頭综合特別室で見送りで眠はつ

東亞の謎®

(23)

史

(19)

※鏝道に沿い東へ東へを擴大され からも一齊破戦を加へる答で脈縦けられてゐる。新くて脱線は臭 | 方面に迂回せもめ又在沿中の軍

昨夜 來待機姿勢 第三艦隊司令部發表

敵軍の 逆襲に 前の意画に陣取 1人は大日 日 ちて置とって眺を開始せて た〇〇〇〇〇隊を解綴懇滅したを勝続の一般〇〇及び吳淞攻撃に影加してる

我裝甲車奇襲

内各所接接訪問 大連 「ごうも、そんなやうな態極で(開東閲覧部) 大連 「ごうも、そんなやうな態極で

しては今夜が初です

て、驟声から大連へ來たのだらう

の国際的サロンへ、おいで下さ しては今夜が初です……上海の程

サロンへ、まり、

歴 「ごうも、そんなやうな影響です。 郷れるこごは出来ませんよ」

等を渡して来ませう」

奏功

我軍苦

| 艦隊司会部では渡しな浴びせかけこの大学な繋続した。 をえて猛烈な漁銭。に製売車一窓を作める用意にも機能の付わな離部隊。に製売車一窓を作める用意にも一般の中職に機関がある。

に成本少別は解除資本の存在の中では たが第一線に立ち要申車を指揮し たが第一線に立ち要申車を指揮し を成本少別は解除資本の存在の中 に対する。 ▲久下沼英氏(開東騰隆部) 十日 一大市九時三十分沙河口曜般列車 「にて夫人同伴旅順へ赴任 にて夫人同伴旅順へ赴任

「にて夫人同伴藤順へ赴任」 中川正左氏(ツーリストピユーの中川正左氏(ツーリストピユーの中の事務理事)十日午前九時半 入港のはるびん丸にて来速 大淵三樹氏(南級東京支社長) 同上

「何さ云つても名土ですからな、

で無くなつてすび、信素一行にき事似を認起したわげく、最独な利

○(海軍大尉) 同上 ○(高田商會員) 同上 ○(大阪商船天津支店 國際館の名七ですからな」

なるのは他の男ですよ。

こって武村は著へた「伯が小夜

るのは

(深華上財) 同上 (深華上財) 同上 (高学十月午前十時出 (高学十月午前十時出

民地域が問題の中立地 野た挑發する支那兵の慌な謎嫌。 0

発前十時から我

楊樹浦方面の

心に集結とついあるものい如く

つかり膝着して以來酸は形次北上海十日致量銀道沿線の軽線は

せて民衆攻略中の陸東部隊をこの一せたり。 おし傷骸浦方郎に敵兵襲攻 表は獣蛇を混淆させたり逆戻りさるが、若し傷骸浦方郎に敵兵襲攻 表は獣蛇を混淆させたり逆戻りさるが、若し傷骸浦狸外境外 國際職器の審議、答画代表は間の 我人居住園の支那軍破壁、之れ

「まあ夫れも可いでせう」 粉は懸けるれなもつさ有用な、部子波の は冷つこく云つた「我々は他人にに同憾しなければ不可ない……いって をなれなもつさ有用な、部子波の人嫌をさへ、 数程である我々は膨い、もつ 一とかしその男か続してから、伯子を称す等でしたが」 「相討ちになるここを眺つてゐる

こるる よく今度の争闘は、

更に軍縮の新提案保留を聲明

適材適所主義で

新進の人材拔擢

警務局の大異動について

森本警務課長語る

でで第三回の小果動もあるが順 「 三日中には養表の運びに至るされ 三日中には養表の運びに至るされ

演說要旨

軍編委日

員會

前議長

非公解にて本日午

た。 東、繁日の服装に各駅部の後依等が 最誠の結果により本郷衛生駅、25 回 の限場により本郷衛生駅、25 回 のは第二回の一

撤廢

張

なが、若し傷器があるが、若し傷器があるが、若し傷器があると共になった。

局方面の警備

の黄智の頭分であった。大連へ来 の黄智の頭分であった。大連へ来 を あつた。が解大速の黄帯の静計 新人の會鼠の入會式があった。 新人の會鼠の入會式があった。 他の質けさなった。では最う家古 武村は兎も飲も上海の――殿沈 会たへ出、松天から大連問題の地を主り、満国神

標問課金無効返

別府林

して流下する獨特の良樂あり、

游賣元



製造鼓賣元山田電機製作大阪市道道醫养 ク点滅器 **菩膿症** 外用用

特約店募集

新案特許

※ 前代等字金サマ小天 発送会別示機・ファル判約 りは設しはしたクブー選 ま弊料下者十入皮サリオ す社計を鉄道。 製分品

8 命革大の印品水 七十銭子提供します 木印以上深い水晶印

安價分讓 **商** 大衆人工孵化場 账 岡 村 野田 村

設置を

我代表、支那代表の

詭辯を反駁 勸告す はツャシイフテロイ

解解像を整へてゐる によれば廣東に在る支那車場 は上海の支那正規車援助のた

央 松戦線東方に擴大

町田氏に決定

航空隙が極りに敵妖の保察中からも一声破撃を加へる筈で郭來

能は「戦光二、順像六、輕像七以上 影冶氏をその後低に決定した 作日の死傷物 に避技したので熱上脈に若機機数 に変技したので熱上脈に若機機数 に変技したので熱上脈に若機機数

(22)

康

三浦氏離滿

廊下で激論

上海事件審理々事會

使は観楽歴氏の教験か攻撃。

題で逆襲され

の醜態を演べ

敵

弾頻りに落下

調查委員會報告

上上海事代緊急調査委員

0 當局に保護を要求

支那代表顰蹷さる

日本代表が支那の 門は日本、明日は 関目は日本、明日は

論調

毒ガ

ス等

米代表の演説要旨

全廢を支持する

1 後まで概念を決心の邦人婦女子。 他就能を要求した を殉撃 敵の野砲陣地

干メートルの地點に酸の高射破及

▲中野金次郎氏(國際通週株式會社々長)同上

●佐拾龍率氏○大谷脈布教師) 同帆のばいかる丸にて雕迹

中立地設備は各方面一致

手當は早くはでは

局部でトケテ作用し、安全に乗ると流下する 即申放下さい変しい説明書を無代で秘密に

奈良市小西町東側松葉系ん

大好群

争銃を入手

犯行の背景を取調中

ものである、独人の歌奏は特の者 『歌劇像者を現て組織されてゐる

「質な被り無常な締めれる、犯人の服装は耕の着

落つき拂ひ

陳述する

葬儀執行

十二日午後二時

けふ補充看護兵來る

なほ谷肥脈酸は角四脈脈七名、節がりまして選抜に困りました

な、それんしば対先で教育を受し、 養術車にて低地へ向ふ では、 のでする では、 のでする をでは、 のでする をでは、 のでする をでは、 のでする をでは、 のでする をでは、 のでする をでは、 のでする のです のでする のです のでする のです のでする のでする のでする のでする のでする のでする のです

八順子を討伐

軍歌を合唱し

三時四十分、山極及び極〇〇

鐵醫院廿四名、經驗會社四十二名

大掠奪な行び元端鎖社 井中隊は十日朝詩伎のため出動を深、約四百名の匪賊來 り続山・高師隊小陽中隊及び煙釜村線…千戸屯、陳相屯の 率の附近部落掠奪中さの情報によ 小 市傷病者 を数めり、殿廟裡に午前十時式を終った、長 電話』 大部分後送

うち野戦病院十二名、ヘルピン流 時局関係の領域者(大部分軍人の 時局関係の領域者(大部分軍人の は2000年市入城前後に設生した。 長から應接 十三山織州に於て宿はれる大阪軍

金巴夜叉

に漸緩村上銀道部長た訪問何事か ときをくを語らなかつたが氏はピューロー社戦等に迎へられ上陸後直

商號

本来野氏の遺縁は織州にて火難の 大塚に向ふ響で十六日幌率天よ て大阪に向ふ響で十六日幌率天よ り大連着、大塚館に突融省方面の 毎本社に入る豫定になってゐる

『臀阜赤谷素蔵長女小報でこばや「に手配し小児、東京九日豊。子甕敷第上郡飯園「逃げて来た 上海から避難 十二歳の少女

個)合計六千百三十個であるがこ一種と一千百三十四個(内小包六十

意匠は工場を背景さら汽笛による

の武波ん開業化した

【東京九日教】真體局は今回新選

は入りません。必ず全治します。 特許日倉式透熱光線治療器 大連監部通吉野町停留場南裏通 た大連監部通吉野町停留場南裏通

新煙草『響』發賣

の好意により登録と映座形中の長崎丸

航空郵便增加

女給爭奪戰線

保線丁場全燒

連山に亘る寒氣のため九川夜迷河

昨夜遼河結氷

だ彼の選牙にかゝつたものがある。
 では、なは水野はなたい。達み町遊館で消装してぬまりる人で人妻や女給にてぬまりる人で人妻や女給にてぬまりる。

間の対応を なるのみならず近年来側で なるのみならず近年来側で であるが、同地には であるが、同地には

は東下三郎と云ふ天蓋無領のルン で愉快な母年物館者がサンフラン で愉快な母年物館者がサンフラン

と答べた、なほ同民際は昭和四 ては出版網目を云つてるる ・ 大きの時は新聞の辞典で知つた説説 つてゐるが、不能に熟つき搬ひせに来る事は窓談舎のピラで知つ ストルの入手や明行の験機についに来る事は窓談舎のピラで知つ ストルの入手や明行の験機について来る事は窓談舎のピラで知つ ストルの入手や明行の験機について来る事は窓談舎のピラで知つ ストルの入手や明行の験機についてなるが、不能に熟つき搬ひせに来る事は窓談舎のピラで知つ ストルの入手や明行の験機についてあるが、不能に熟つき搬ひせに来る事は窓談舎のであるが、不能に熟っき搬びせ けさ安奉線の陳相屯附近で 奉天から急行討伐 五分壁り果てた井上氏の遺跡が帝

遺骸を見るまで

死んだと思へぬ

大毎遭難吐員茅野氏の

嚴父、

大連被急行列車で参天に赴き、

る物態祭十四日本天の勉態祭に

日本森十字社談社長公路徳川関順に同者記憶田愛之助献氏を際同。軍に同者記憶田愛之助献氏を際同。軍に同者記憶田愛之助献氏を際同。軍

徳川公ら來連

觀光局理事來達

ユーロウ恵務理事

分 G F

七九番

大連市山野道三井物産債

慢性痼疾な

胃腸病が

時上前蘇(根の心底の死について内 田高緩運転は把決み年ら語る 自分は色々の機會で長く氏さは 空際つたので一人海氣の毒に填 へない、井上系は非常に墨画も あり又平常順張してぬた人であ あり又平常順張してぬた人であ こだ、歐米にも度々行き歐米人 に多くの知已を持つてぬて世界 の世界に通じ世界的に重きを貸 してぬた人であるが情しこ などがあったかも知れない。今などがあったかも知れない。今なり、その善聖、成功不成功は自まいで断行したとない。そのないとは、一般によって進ふが氏されては、他を注いで断行したが、その答と、にから見る人によって進ふが氏されてならのことは滿輩問題である。氏の功績さして忘れてならのことは滿輩問題である。それは観音の金融界に重きをなるとに加はったが、その協力に終て滿輩の音珠とこにが、その協力に終て滿輩の音珠と立に加はったが、その協力に終て滿輩の音珠と立るとに加ばったが、その協力に終て滿輩の音珠と立るとにからない。

内田滿鐵總裁語る

満蒙問題の功績

氏に黙し左のごさく特音級他の衛 陞叙の御沙汰

陸叙從二位(位一級被進) 正三位動一等 井上準之助

首藤理事の追憶談

暗殺事件

ず嫌い

誠に困った

イブル、ハーモニカ等一ばい入れカメキシコ錢を混ぜて二十曜さパ

人養首相語る

もめ込んでうれらがつてゐる

西山會に强盗

開十一日の記式部にさいも開展軍司 を総では軍司会管法下午前十時よ り日降機・輸送機・前に続て選手式 の を駅行の著『奉天電話』

紀元節遙拜式

日本部央ノ宣属出アリタルニヨリ向 三 小三十日以内ニ發見セス且英編ノ の 申立ナキトキハ之テ無効トス 昭和七年二月十日 昭和七年二月十日

加煙 り 元 中山

た中村武羅夫氏の代表作の映鑑化――大阪毎日、東京日日に皆つて連載された版毎日、東京日日に皆つて連載され

嗇

大学百二十四を儲むして逃走沙を女に魅力を吹きつけて解説した。 送つた大連丸はその後誤戯民一般部職民七百名を載せ八日長 を留きます。

11年前八時入港したが同機は十二日午前八時入港したが同機は十二日午前八時入港したが同機は十二日午前十一時大連出税上海へ就

有に店物乾及.店品料食 行**洋和京** 市連大 店約特

大連丸入港

富豊養榮 いしいお。もてど 素とのーレカスイラ

帝國建築協會

1、購買會當鐵醬 五四番 開公日八十

錢十二下階 料特 錢 三上階 金別

| 京 | 洋裁縫師 技術優秀にして高い仕立に連鎖街

叉

,,,, 極東**畜產合資會**社 福秋

出摘のお節句近 かに又雅びや がに異様の数 でき が難様の数 二月 7.80 臣 丁瓜 いろくく其悩お道具類、飾り人類らしい側向か続らした逆り間

の報道、総談、音樂等を放送し之 で内地放送局にて中継し全側に滿 を内地放送局にて中継し全側に滿

具傷兵廿名

長春到着

統領を受けて後送、長春衛成派院双城堡の戦闘において胸部に置真

極傷者は戯領へ

時には二十分間)率天放送局よりなの場所には二十分間)率天放送局は十分よりが、九分間

日の紀元部の住師をもつて第一名は長春能成物院に取容された。

なほ第二回貨機者の後送は十

後三昨二十九分長春着の豫定『長

故藤原伍長 慰靈告別式

いよく、紀元節から開始

奉天の定時放送

カフェー製者が安総の野勢に血吸が応に、山口駅全化代所や定無職がから、山口駅全化代所や定無職が施った、山口駅全化代所や定無職が動きたが実際し一昨年市内機械を発表し一昨年市内機械を発表し一時年市内機械を発表してるたが実験が低して降びが経過である。 ではのかりでは、山口駅全化代所や定無職が動きた場合のでは、一定まり、東外十駅中が通りでは、100円ので 前借詐欺を働く 女給泣せの犯人檢舉

電話開通 紀元節から 九日午後九時二十分消線網派完子の脱跳心明であるが失失としたの脱跳心明であるが失失としたの脱跳心明であるが失失としたの脱跳心明であるが失失としたの脱跳心明であるが失失とした。 密航少年

親官

玉

隐仕御標

源品返金自由

△金旅

州瓜

人を達致します

天衛衛

北西の風晴一時季

三二十四八

一一時

る

與 世 新 撰 一 新 撰

幼不断の名品は今や裝び新たにして再び出づ、御期待を購へすめらゆる近無勇映画の標決算書さして完成ぜられたもの――――

浮かれ出た二人の姉妹が奏で出づる銀座夜曲――。

入江たか子・相良愛子・沖悦二共演

當る二月十四日初日―六日間限り ●●座員多数に付き正四時開演●

人 連 場

試験地線 言野は極く解しようで

た大量機

酒は 圖白 鹿

二十五錢

仰]人前五十錢

鞄

店

小天数羅中心暗溪道



天真の

30

値 下

間週禮謝員

丸岡糸店

外三千種類品豐富

専責カケ針

ドコへ行テモ

絹ミシン糸、DMO 糸、鳳凰絹小町、

鎖カタン、③絹糸

数が解析がすぐとれるれれたリシ

但馬町西廣場上ル

あ化 粧品は

6

(可謂物便或禮三期)

注目あれ

早過洋醫兒

拾 日封切

すから縣人各位で御出席を御願致します島知己氏の送別會を左記の通り開催致しま今度大連民政署長を御退任になりました辛

金二個(當日御持登順ひます)

旧迄に電断三六六三番

會

小寺藥局

幣制と改革の

支那側銀行の現狀

満蒙における

中野國際通運專務

スケ月ぶりの來端で時局の漸溯 を始めてみるんですから少も勉 ではこれについての照會状が 社にはこれについての照會状が 社にはこれについての照會状が 社のやうに舞ひ込んで應接に忙 数されてゐますが今農林省が主 なれてゐますが今農林省が主

前語警測はん相の大観入荷があつ。送映版を現てすればことの入荷蔵せるも一が之に代るべき。二両に戦勢とた、確して、上海時局に

滿蒙移民熱

母國では大へん

大淵滿鐵東京支社長來連談

豆粕を除く三品は づれも支那向

田和聖職所州内談路の経運動を理 で発が州内談と期成同歌會より派 に先立ち

滿鐵自他線とも

じく派遣の小川市長は次の定よ最後的猛運動が起すのだ。

特產市場 漸~落着

二萬二千五百餘度、五日 環経 あものき録道部では見てある、一額正川のため、暴逐浦鏡 あものき録道部では見てある、一部上川のため、暴逐浦鏡 あものき録道部では見てある、一

であるが國家のため

材料高なれざ

當市保合

時間立合の

げて世界財外の著

滞貨漸減す

旬日を出でず一掃か

財政決議案 英下院可決

賣上高

職院で去る四日職職チェムバレン氏 ならしめる財政決議家が表決に附 ならしめる財政決議家が表決に附 なれたが四百五十二監禁七十六窓

能と買氣で

况子

□ 上海時局に累せられ 市場は東に一段の崩落を強 でれてるためへ今朝瀬中の でれてるためへの送金も可能 であるの送金も可能

舊正明け

の鈔票

保合ひ至極凡調

引け六十九圓五十五錢

進申出來高

安價と美味を

の視察團

を を には三百五 にまず日本 にまず日本

五質部

實確

大阪商船隊武大連支店

代・上育

唐道文縣山丸二月廿六日

一日清汽船」出帆

全島谷汽船

一株(保合) 三十二圖九十億 五六八五六八十二九三〇七六隆

四平町、長春、吉林、哈爾廣其他 東側荷扱所大連市山縣通 東側荷扱所大連市山縣通 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三一五一番 電話三十五番 銀筒 投所大連市山縣通

東國商級南大連伊勢町突內所《電響 下 架 內 所《電響 平 架 內 所《電響 平 內 所《電響 平 內 所《電響 下 架 內 所《電影》

印度麻袋

地場株績陰 =

三羊商行

天 津 行

橋渡直行 区大阪商船

元五·四六八 元 弟 商。 元五·四六八

取扱所入一商級審荷人工一商

日本 新鄉林大連 出程 經濟船檢太會社大連代理店 經濟船檢太會社大連代理店

松り出人

大元元元 元元元元 元元元元

语言大 法言引

來近

大学10 11年00 1六八公 元月0 11十八年 1六八公 元月0 11六八年 1六八公 元月0 11六八年 1六八公 元月0 11六八年 1六八公

滿鐵株腳

津

天 净 行 勝浦丸丸 行 勝浦丸丸丸 天神行

目 本年ノ本日 昨年ノ本日

3.210.5

216.974.8 5,206.4

2.040.7

35,029,6

5.117.6

3.664.9

2.112.8

1.898.7

238.4

265.3

1.152.0 2.2794

9.913.6

1.212.6

421.7

100.2

1.740.3

1.482.8

833.1

5.861.6

112468.6

3.508.0

8,182,7 1.910.8

14,176.6

3,007.2

: 69.5

745.G

1.978.2

6.4

115.0

175.0

2.897.4

8.408.6

2106.8

40.635.7

829.6

238.0

1.573.6

10.936.5

1.040.2

504.5

201.511.4

井混保白眉豆

審芝大小蘇落館豆瓣

戡

麥

鸠 セメント

22

粕

粕骨

油

粉

子

共他ノ油類

現代新人の嗜好に適するを 疑はず其容器の美麗と共に内地 御土 産品とし

北書四前實施前建大

パルムのパタオンパルムのおりません。多質ルタンエリオル四回・三五二四長記録 3

麻雀
火勝法公開

==

帝 付 大 引

四八八〇 四八八〇

でも一点のできません。

一大〇

製和大

小紙の

各纸

〇三二五〇

参 大

がはいくのないと言うといればいこうからこう

人氣焦點北京料理 沙珠中心北京料理

满墙広西

の方々 團體兒學 軍人學生

松五二三四語電

六〇——

関ウントン九日安 本日上院 一般を認つてある外園政府に對し ・一般を認つてある外園政府に對し ・一般を認つてある外園政府に對し ・一般を認つてある外園政府に對し

祖父様もお父

天下の名薬パンザ~

8 本毒藥会

精腦 狀豆会們

ジャバン 船切符發賣 電園

國際運輸付款大連支店 國際運輸付款大連支店

目

るに於ては我軍は近く之が二十哩外への撤退を實力を以て實現せしむる外なきに至るらう、とかと寒に前題機構地を中心に潜々戦傷を進めつゝめる党那軍が依線搬送せず我警備區域及び租界攻撃を積租界外二十哩まで支那軍撤退せば列國の斡旋する停戦協議案は我政府の欣然應該する職北の賦帰區域に於ける勝戦に終始と支那軍の根禁たる龍拳、鄭新等の攻撃をせざるは我軍が全て基際の擴大を希望せざる営めで

第三艦隊司令部聲明

國民政府は否定 日本に對して

米國務長官ご協議後

開封移轉說

が集結してある ・沙里は盛に曜り妻大 大池館に曜り妻大

敵の

堅陣を爆撃

便衣除嫌疑

工部局が釋放

支那軍機影を見せず

とて我軍で排留の後工部 (上海十日登)便衣配の

南京對日感情

元村警部避難談

トン九日登」駐米イギリ ン氏を訪問 駐米大使リ氏語る

聯盟理事會の空氣

川路口無警察

支那側の無法な砲撃に

上海に随つた

對支調查委員

一行日程

● 排泉要長の二つならが影音液を 後の手腔は整然理事會呼振泉か続。 諒解を求む なきため天機泰同の後

樞府定例會議で

で、これがため北 北部邦人區域が開発することとなっていため危険極まり は岩野海げたが日本際は原始のて は岩野海げたが日本際は原始のて は岩野海げたが日本際は原始のて

後方に潜入 便衣隊が我軍

マツコイ粉草で合し大陸総由奏流。 の かんしょ ユーヨーカ を は 一行は九日ニューヨー

佛租界警察襲擊

電車二十九臺を破壊

へを保護した

『上海十日数』展三日來便安除の 教育は今朝來上遊館日新職藝の夢 我草は今朝來上遊館日新職藝の夢 我草は今朝來上遊館日新職藝の夢 北の區域内に支那人の入る事を賦 で、独子路以

で一路東洋に向ふが画 移省の勢総 からアレシデント・クーリッチ酸

勝に縁着と非臘根靴と認識の紹邦。『上海事件は東北

問題と同時に解決し局部的

一石最後的方針決定

英米支持するも

中立表明

九日下院で

羅文幹反對聲

【南京九二鼓】權文較什

吳凇の陷落近し

ス租界の電車二十九編を破壊したては戦をとれが群衆はフラン

支那兵逆襲

我軍の架橋工事了る

支那海軍に對し

内根に對し帝都の真ん中で代表者を選出し、大戦首は

五十三名

我」立候補幹退によ

立候補辭退者

危害た加へる如き

政策十五名、安楽派一名、中立八 政策十五名、安楽派一名、中立八 政策・2名、安楽派一名、中立八 政策・2名、安楽派一名、中立八 政策・2名、安楽派一名、中立八

滿蒙に雄飛せらる上商士よ

御註文と御照會には迅速・叮嚀に洋反物の御用はゼヒ田村駒へ!!

産業の合理化に依る優良製品の廉賣

議的詰問 高橋船長射殺事件

家で支那は所信に実施する 【上澤九日蒙】一昨日衆英滋術歌 | 郷を助て九日午後一時代から敵の の内容は日支旗係家に新

陸兵に

徐外交次長語る

江灣競馬場

猛火に包まる

した。我軍は間もなく治を減り長 は異激クリークの架械工事を完了。 「果淡九日午後六時半費」我隊軍

昨日の日流冷船高 城内よりも、駅 5 に城外が 6 版別 一部能ならしむる 5 世界で日本人二名が「政治を別されて 全式に支那部では、一部を受け六日には南市で伸者かに 大大大・、全後同様、た、また八日までに上海を引揚げ 大大・、全後同様、た、また八日までに上海を引揚げ 大に繋明の上機優。 一部に繋 7 名版され、二名で方へ明さなつ 大大・、全後同様。た、また八日までに上海を引揚げ がに繋明の上機優。 一部ですると 危險 に出動を命ぜられた に出動を命ぜられた 英軍一個大隊 上海に出動

會 事 事 即 的 出 出 企

安達前内相の

八名である

容の服飾品は豐富荷揃

斯界の有名品は先づ田村駒より

を染友仙モス・・・・・・グローリ 極威ある殺質品 (一部)

復黨説が再燃

野黨陣容を 建直す

· 東京十日要】 幹令 實業學務局長更迭 れたが長谷哨氏の航途に

舶來化粧品專門



「東京十日教」民政策では十日午 「概念援耶に緊急選級委員会を開き 前十時から本館の熱爆艦紫脈に選 線像の総集町田島首氏選級委員長 順委員会を開催し、共爆機裁、町 の下に脱、櫻内、蝦地木氏等が補 の下に脱、櫻内、蝦地木氏等が補 の下に脱、櫻内、蝦地木氏等が補 の下に脱、大大大手を開き である。

暴力行為を詰問

民政選舉委員會協議



新漢 新選 地區 新漢 新選 地區 東個五十錢選科二 東個五十錢選科二 福著滿 人阪屋號建 繪展圖表圖表話表話表話表話表話

てるやう支那郷に返答も窓にこれに就し工部局では直接日本に抗論 事よりなる 変数はは昨日全部を 長なりせして 解放され残り六十五 長なりせして 解放され残り六十五 長なりせして 解放され残り六十五 草の支那側成験に難し工部院に野 支那の抗議を 工部局受附けず

大学 (上海九日要) (株) (戦事本内山氏) 東海 (東京) 東京 (東京) 東京 (東京) 東京 (東京) 東 (東京)

『上海九日教』チャイナアレス報 事代教生以来代方が明さ像へられ ま代教生以来代方が明さ像へられ またが、戦事館内にあつて英近 行方不明説の 邦人記者無事

時午後五時治ノ復郷隆 中後五時治ノ復郷隆 〇工學部=四月五日 〇工學部=四月五日 〇工學部=四月五日 (上交職學部ニ進ム者) (上交職學部ニ進ム者)

美国著湖洲今昔物

八學 募集

大學強科 第一項科(二年制) 與其一項指受付() 與科文科 | 四月] > 與其受付() 與科文科 | 四月]

無病、足學)各若干名社は、文學へ哲学、倫理

とな

る製品列車四列車を北平域外に跳着せらむるなどもし、記憶製化1000として、1000はも傾りです 花に在った直来軍を天津南方に移駐せらむるなど、又乗州より學良の最も傾りです 本本のにも平九日教 学良は北岸線密原に 平漢線に貨車の集結を命ずる一方、北平南

などあり、経送東北軍の動き日を逐ふて活しる場でしれる力と、英語外より學長の最も何りとす

佛各國に有力なる特

多門

團の觀兵式のいかか

82

り、日本人の通行という。日本人の難し感慨は相

機關銃隊赴滔 天津から佛國

ス兵機関院一ケ中隊及び北平の一一整直しのため十日午前十時より沿に天津十日登】監風駐屯のフラン「東京十日登」民政策は選級院容

でするカメロン・フォーアス氏の 部等を振聞してが変質さして欲したができまったが、 エギブト・カイロの機能事態の書か大使ジョセフグルー氏を定く記 エギブト・カイロの機能事態の書か大使ジョセフグルー氏を定く記 エギブト・カイロの機能事態の書かた。 大使館に際位し一九二七年五月松 アー氏はマッサチウェッツ州ボス 土大使に位せられ今日に至つた。 1000年 10 ジョセフ・グルー氏

駐日米大使後任

「東京十日教」 選集戦の調品中選 を観視が成り下約部は井上氏郎で協 岐阜三區無競爭か ×× 由材駒

> 大阪市東區安土町四丁目 株式會批

警務局關係異動

警形補 本田 榮喜

で成は軍事行動を援助し手戦争公の官を挙げたり、余漢在支倉員は今次の時局に際し振るて公共の為め努力と特征十一時場終了した、宮殿下の信託等は左の処く無て鑑売的において在奈在郷軍人に對して開院機械宮殿下上

は演奏の現局に關し極々 さと整要味を現て本家が さと整要味を現て本家が さと整要味を現て本家が さと整要味を現て本家が さと整要味を現て本家が さと整要味を現て本家が 変金の投下等の著後軟拾法の後に つへある が、山岡新史官の夏空略 の外、軍都に於て管施の事態に因 が、山岡新史官の夏空略 の外、軍都に於て管施の事態に因 が、山岡新史官の夏空略 の外、軍都に於て管施の事態に因 が、山岡新史官の夏空略 が、東部に於て管施の事態に因 が、東部に於て管施の事態に因

閑院總裁宮殿下

畏き御言葉を傳達

和田在郷軍人會副會長より

奉天忠靈塔前に於て

安本線にて来る

(=)

内務關係の分少數日中に發表

永興金山を

ないなき場面になるさワートないでは、こととともの特徴になるさワート

の如く出たならし奇歌を發するス等の場面になるさまるでし

○ びに難べて脈の処と離と云へ、 彼事が野でしまる。

笑い出て、さぞかし見物先生だ

よりなき場面になるセワーセッ の人物が遅か流してる様な患痛 の人物が遅か流してる様な患痛

今いはゆる群

東心理さいふものか

をしてぬる者等に至っては武の生命総になる者等に至っては武が出場

一の個民の登が戦に表心すべつ生命線たる。一ので活躍する

がい足の間で所な知られる。

弦の器を立ているる者。

東拓直營

那芝居でした。

◆件人は基準の事を「被導は活練」 に満ちしてゐる少年鑑だ」さ いふ理画で詳ず事も出來やうが がる理画で詳ず事も出來やうが

のから知れないが、そうださし でも社會與職種を除く結果であることは否めない、新教育々々 と口にされる教育者 一般生へい して社會解職をかつましめよ」

奉祝紀元節

支那教育視察

服部外務書記官

滿夢

豕投資に關し

務當局と懇談

十二日東拓本社にて

斯波男近く歸連

限り被極的邦人で進みたいさ、限り被極的邦人で進みたいさ考へてある。全回の観察によっていから期するさころもあり出来スから期である。全国の観察によっている考へない。

の大百だって四条の大百だって四条の十十八万敦化、龍开村の十二日弘、第一年の住民に非

値上りになるだらうと。探木事 り、面積が少いながらにも耕地 り、面積が少いながらにも耕地 にすれば是非共動いてほこいだ

市 百三十四條による編章報告の代は上海章報告を表認と、練立費用法 上海章報告を表認と、練立費用法

99 豆 柄 ◆ 楼

北鮮各港を 技術上から視察 吉會線の終端池は知られ 佐藤鐵道部次長談

で、 紙出、雄馬で、 紙出、雄馬

日支提携に

警官の特殊教育

高等警察方面も改新

關東廳の積極的計畫

職成三月中旬除縣の歌定である 民國信學生につき職事者の意見を 関係の数官総況勘察策々我國への 粉曲記官の資格で來る十二日東京 「東京九一餐」 女郎衛長郎 神祇氏は家住である外

局官

んな歡送迎會 署長等の

で、れに難し三浦が で、れに難し三浦が で、これに難し三浦が で、これに難し三浦が 新民政聯長竹內鄉局長 ヤマトホテルにて 十六日出戦のあめりかれて大連な 于深徵氏

してハルピンに入城した子の際氏に古歌合覧経済の自根等は指揮されているといいのは、 風長官か 訪問 當分靜養

は九二午前八時四十九分東支線道は九二午前八時四十九分東支線道は九二午前八時四十九分東支線道はて一本人で表して、一本であったが同域を持ちて、一本であったが同域を持ちて、一本であったが同域を持ちて、一本の就任を射まの噂を続いた。それを押しさって就任せるとので見ない。自分は当体からハルビンまで行事とたので見強が開くしても就任せよさいへば就がにして、後し何とろ接等してゐるから一先つ古とでで一ケ月はかり解析域に行るを使してるる。でした。

局前大連民政署及

ですって飲料

郎氏に決定

一世でなら 被したさてさ

一、純北京料理であります

0

一、純化気料里でなるという。東北京の遼東飯莊は

五品代行會社 創立總會

邮长 庄子 城造

カラ販長りさしか見えず▲それ、 りし軽に転び武滅と奪って共産の の規度電が武滅と奪って共産の の地度電が武滅と奪って共産の で行逐動にそ戦力電大視で 以て日本人際選で し、要するに支那一流のカラ元で のカラ元で き弱か

發

0

0

取扱店 地方 満日支社、支局、各販賣店を以来旬日にして一版二版を頒布し目下第三版の頒布に著手しておるにご絶大なる好評を受けてゐる。 おいご絶大なる好評を受けてゐる。 おいご絶大なる好評を受けてゐる。 と 一 一 第三版の別布に著手してゐるにご絶大なる好評を受けてゐる。 と 一 第三版の別布に著手してゐるにご絶大なる好評を受けてゐる。 と 一 本 金 二 十 五 録 定 個 一 部 金 二 十 五 録

寫

努めて來たのである。 皆い、ポスターに、或はビラにそ、他總やる手段と方法を以て侮日に對日態度に潜む層、排日運動は如何なる手段を以て宣傳をなしたか。の傷を除去せねば異に其の目的や達することは出來しい。これまでの共存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れど絶えず惹る排日の裏 囲北存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れど絶えず惹る排日の裏 囲

事意が危いされ って溶職へ复報 した 長政府、

院醫富

*

/前

銀元

頭取·材井路太郎

電話。四三一番

五東東新

加速することとなった

正四位勳三等 山岡萬之助

不三二一三四 八九三八六 申(八四〇〇

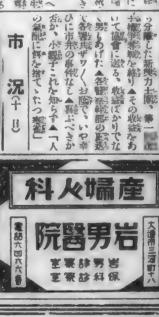
の頭痛にノーシンの

元の元元で限 る印刷 6

光烟醫院

書堂醫 愈85998

地場株績騰



銘 高 瀬 敬

かを 明するに足るものなり 様は如何に金替月が其い品質の放群なる原都島本護造淸酒にして開設以來最高金

清洲總代理店 內 藤 商 店

二二三九三

#

金桂月紫縣

11 12 (49)

hi o

(10) 小面

なら

3/

Æ ミック のために国家のために験に活動。 を察するのに際に天皇。 を察するのに際に天皇。

第つ部のみのりからことうべもこそ眺の國原もろ聞き伏す

◆満洲事變に際じ特に感深さものあり

斐

日の息子の御殿稜はし

るし土盤る滿葉の空に光さしてふ

ここはどの歌城かに耐ひびき諸家の空ゆく黙しなし

高ゆかば水つくかばれ山ゆかば

捧げつるいのちのまへに動む神浴の酵び寒くしてこさほぎかねむ 高干線の歌脈かに生徒等さったひこさほぎも日ははろかになりね

場えないのであります

3

旅はこいに清新なる組織 んで天皇の大御心を飛続。

百九十二年の古んなぎに時の大

す、特に未曾有の國家的

人切な

多い

ぞ迎

驀進の大決心を愈よかためよ 本に歸り大日本の使命實現に 家庭的に大いに祝

元郎の殿賀する歌意後であるさ信いを飲く繋曲に有るこさが即ちた。 かんなく 撃曲にするこさが即ちた。 に解り思を新にして聚園一致大日

申字」の理想は決して観

おいこさはこれ程法に國民的に重 大楽楽なる意義を有する紀元節を

建國祭の日に

日か理園祭さして全國民的に脱れ れんさしては居ますが彼の「クリに配ふ賦が内地に然ては極く行は、一幅の部分」さして家庭館 て全國民族に脱ふ

ません、日本標戦の世界に致いる は君気にして懐け父子」なるは有 の民態等悪態のもこに正義こ人道 交化を概要として襲け父子」なるは有 なが、自本標戦の世界に致いるは有 なが、自本に正義こ人道 でんな概要として襲け父子」なるは有 なが、自本に正義こ人道

各學校の催物

社會教化膨慢等の努力





傾原神宮の 後村上院御製

特許

生殖器障害

神經衰弱

時勃

高御座さばりかいげて横原の 宮の香もしるき春かな 二五九二年春の今日、泉祇・徳武 天皇がこゝに皇位につかせられ 天皇がこゝに皇位につかせられ

入院室開靜 前校學小日春町国公西(夕隆)萬五六五六萬卷

醫學博士

澁谷創榮

皮膚梅毒科———放皮膚病等,原梅毒花柳病科——科茨、下疳、横、毒素

入院室完備——腎臓檢查、 電話七七七六番 、畢丸炎 慢性淋疾

「お願のやうにお庭を作ってはご 也到河三塔宏西市漫大 各 O - 包 法 記載 **M14** 生殖器發育不全 超スピードで頭痛をなけす (全國知名薬店にあり) 6 100萬(國本鎮) 戸毎に ライオン協磨 寝る前にも 子供さんが 咽喉痛· 胃 理的新治療剤にして一回の塗布よく長打撲痛、腰痛、捻挫に對する合 煉チュープ入 時間の力を持續す。 中耳炎 **雙**實元 **疫**造元 肺 凍傷、 肩凝、 關節炎 肋膜炎 一 株式會社 巴 (大阪市東廣道修町) 合名 合 社 合 名 合 社 商林小品鐵罐鉱本



の音を聞きながら

一致によく手入れが役屈いてぬま

際一人三大爺さんのお庭なほめる

んのうち

見つさらない様だらう」

政本いさ

お庭

ました。 は自慢さうにいつもにこくくしてなお題を見てみんな感心して行き なざゝほめられる底に興太爺さん 道を通る人は奥太爺さんのきれい せう」

んなここちつこも無にしませんで かんなここちつこも無にしませんで お庭があるさいふので村の人はど つかへ行くないでには乾燥寒太き んのうちへ立部りました。そして お爺さんからいろ (自戦話を降

6四角い掛からし縁の 三大爺さんのお

はく ◆ 「何處だり」「此處だり」よ

=

軍狀況視察の母の飛來せる平壌飛る平壌飛り間強略変行

安東婦人たちの

市記 時局記念のため、希望者に限り引伸編員の独約 中、出品写真 演災、上海陰戦隊のに動外四百餘點 東 安東公會堂 東 安東公會堂

目覺しい活躍振

慰問金品に献金に

滿洲日報安義支局

▽熱辯は腹脈を高くす

滿洲日報四平

街支局

、日時 二月十二日安東

午前十時より四

▽死亡卒倒率

高い年

豫防と治療を怠るな

時局寫眞展覽

曾

血。高血

3

年

七 和

或は解任か

門入園式へ、五年生は校庭にて 関入園式へ、五年生は校庭にて 関入園式へ、五年生は校庭にて 関入園式へ、五年生は校庭にて、 製き職員生徒拜賀式、終 が戦線の進度につれ最早配行である。 か戦線の進度につれ最早配行関番 が戦線の進度につれ最早配行関番 が戦線の進度につれ最早配行関番 が戦線の進度につれ最早配行関番 が戦線の進度につれ最早配行関番 が戦線の進度につれ最早配行関番 が関係の進度につれる。

今日は経元部 - 一戦武天皇御歌他 の体部である。在無願の谷場校で は左の娘く天々無償式或・質みを 等一齊に依拠し今日の街き日の歌園

陣中文庫募集

支無規(として上版を を表現の主に を表現の を表現の

れてるた撫順

三回の世間遊説が開

紀元節拜賀式

を主されて一般的語物がよく

珠地委議長

公共機關聯合會發起者問題

九日も遂に決定せず

月

+

反對 あり教祀人たる事を

間端に出席してはこの経験派に全回だけ

東決は無能名投票によるさの に近来になき紛糾か見景後に

あったが選に越決にも至ら

さかられ其の成役はឈる注載され では、こて或は機長は其の難低・時と にして或は機長は其の難低・時と

匪賊ミ交戦

我警官隊

齊突擊

(中でのき協議されたが此れ又解會 生後一時常保戦事會・開き観會の てある 他につき協議されたが此れ又解會 である を関いてある を関いてある を関いてある を関いてある を関いてある を関いてある を関いてある を関いてある。 を関いてある を関いてある を関いてある。 を関いてる。 を関いてなる。 をしる。 をしる。

・ 分頃一匹版走せる版画より遊覧で ・ 分頃一匹版走せる版画より遊覧で ・ 分頃一匹版走せる版画より遊覧で

兩兵士安東で語る

特別記さ事版に記入してあるもの お第三市職第一職第六帳第四連長 本権して承徳一股落さ云へやう。 ・ 他して承徳一股落さ云へやう。 ・ 他にて承徳一股落さ云へやう。

高代線は連賊の のは今や離く上海

なくかの解く上帝がに として空に陸に事態 られる、率天以北を中心させる戦 られる、率天以北を中心させる戦 になる。 なるといる。 では移さ共に難々しい活動に続け

奉山戦線に異状

頭傷 同係三出

等兵 田中隊

不動生のために臨冷血を設作する

寒風すさむ牽山戦線にも

ます

開原完備 同鄉四由

と理解民な集合せらめて (第二十袋 では五日石川支部長同総部等系数

H

部下に して機関銃、操撃で自動車三挙は全く使用出來ないやうにまで打たれてゐるが自分等もかやうに敵弾を受け生きて、るここが出來なのはむしろ不思誘の後に当ばれる位である

そしてそのあかい唇からは

の酷寒に土

唇からはっぱれ

はなく整さなく「スワ販販売だ」さ 一般の一兵をも近づけの歌と新車の 一般で、本山涨線を漁門などを 一般で、本山涨線を漁門などを 一般で、本山涨線を漁門などを 一般である近づけの歌と新車の 一般である近づけの歌と新車の 一般である近づけの歌と新車の

等兵) な戦火であった

(寫真は田中

は、がと、強性すると何が魅力、出したり、交は食血したり機をあったいへはい、な機が起つてくるのは其爲であるが、と、一の経臓に発養を連んでゆく心液の・神に養婦症状の機に今難いたことの経過に発養を連んでゆく心液の・神に養婦症状の機に今難いたことが表べる、政治療は政策を設す資うの経過に発養を連んでゆく心液の神に養婦症状の機に今難いたことが表である。

神主義照証状の様に今期いたこと。 が場が起ってくるのは其為である。 が場が起ってくるのは其為である

等兵

▽不眠、不安、

恐怖症

(DES

こり耳鳴がし眼が、かすみ。めま

電車天』季山戦線に異狀あり、この度始めて生れた動選家紅軍、 の度始めて生れた動選家紅軍、 の度始めて生れた動選家紅軍、 の度がのて生れた動選家紅軍、 とのぶ、春子さいつた戦線には とのぶ、春子さいつた戦線には とのぶ、春子さいつた戦線には とのぶ、春子さいつた戦線には とのが、本人田の徳原、 とのが、本人田の徳原、 とのが、本人田の徳原、 とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子はいる地域に とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、本子は、 とのが、 との

かそれが紅軍だけに命令も優し

因に戦化せる日 長傷 同四中的

生の紅果助師が硬化すると脳溶血というによるというでなくあら

あら、時であることを思れてはならい。

▽腦力、體力はなぜ衰へる

東東東亞

紅旗出動部除 錦州邦人料理店に 三人組强盜闖入

日本人なれば金を以いる。 は住らず」さ一 でのかを以て御諒 での上さもよろ。 での上さもよろ。

の機に觸れ腕を織つて似つた名歌

きなわの岐は徹と極る

段ろかターコー

別式な野行した

は、 ・ は、 、 、 は、 、 ま

を持ちいた。かやうな時には実味が介えた。かやうな時には実味が介えた。かやうな時には実味が介えた。

うな諸症人は治つてしまふ

濟生醫院

金百餘圓强奪逃走

質物にあらず

おける、

れが軍隊であったなら上官の命

三浦氏

送別會

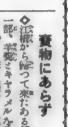
▽安ら

交合語がといて、既役も

さ云ふ「いや二十銭出をう」さ云、「際武湫、 塗満を命じた。それが類特つてるな、十銭で取らないか」、時分融是は絵々さして跡跡機の分に居た一人「周筋に美 ぶいものな 教権が 轄附出来なくなつた、此の

人を答れ嫩江

本 さって来るさ「直に出る場合」の大教(立)で、 ○一同水銀に水を満たし、大教(立)で、 「一日水銀に水を満たし、大教(立)で、 「一日本地(都)」 前 と で来た其の尊い水も捨てとります。



● 注解から配って来ためる部隊の れた他の分隊の戦だから半変を戦 った、気も振に見た半撃の継、* をは其の代貨票とがれ五個と二金 はなかつた

(2)

野北京

の歌に歌まされ感に仕事に助かい 歌歌に火なつける分献長の郷もと が、悠然



◇新立屯の戦闘中東砲車は猛烈 最夏の統率法



らかうした無土のあることを散線に ・充分線介することが出来るので でもお明経の作動が観々さも

は三朝ぶら、ざいつ、やりきの花の吹いたは 道路測量進捗 場実等に通すられ 和山島散職合會の二 郷中 と二百餘に達した 令山村歌硕兵大**隊** 日下内移居長土地

氏有志の三浦前内

有意能級の人々に終大なる好許をおれている。 海貴來の適應症

飄河 合洋

S 認 日 新

堂藥

局

回転理数明書申込本第無代進品

の表示を 人院の應需 大連而通。常體清。西廣當中間電話七五二八番

は麻醤

山羊の乳

に何よりの榮養料

は東京大連販賣

山羊

各學校則指定

Щ

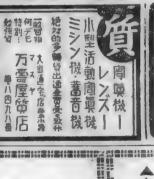
電話三二九

九年店

旅順市乃木町三丁日





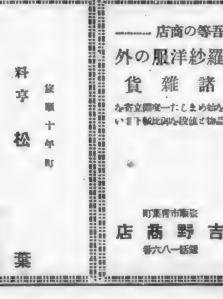






病









Ξ

=





他か一日か二日で東京の客となった。

野覧これは脳動脈が硬化して危険 の「きっとないのではないとながない

を ので 思惑のために ならい はないかい上で なり これが できない できる できない かいよう ない はないかいような はないかいような はないかいような はないかいような はないかいような はないかいような ないまで ないまで ないましょう であらふ



陸海軍御用達

海產物問屋

入晚道









アかな家庭的ホール

サービス…是非一度……の 日支 英 尉 理 さ 献 身的

敦賀町

食堂活

年代由生命保險相互實献代 坪店 衛 観 貯炭場構內出張所 明師火災澤上保險疎式資献代 坪店

医



皮膚 軟性 下疳 病











式株堂天参

0

學校の成績はかけったかられて 2年福原正義先生創製 力越荷物荷造 古市運送店 次町五九 次町五九 次町五九 次町五九 の技術者を何は 吉川商店 お肌の美を 五サ + •" in 专 保 ع 2 出、御来は世

佐井田洋行

トラ

大連市 | 读献町七 | 增田貨物自動車運送部 | 電話七三七〇番

電四九一六番

本の まの 1 値 一升 に は 一升 に は 年の 神殿 と 臨特の 製法に 仏 る美味 と 滋養に 富む 好飲料 迅速配 き 乗味 と 滋養に 富む 好飲料 迅速配 日販質所 電話九七五五番 電話三六二番 電話三六二番 電話三六二番 治語三四四九 何卒御用命の程を お待ち飲ねの評判の良い 佐藤建築事務所 お 西廣場 知 6 を始 電話三四五七・ めま 個バカセの番

太田家畜病院

ま 発質に 能られ の安心

現代特徴では、一日 一個家事一切一日 一個

圖也

通勤家政婦

ミツワ附添婦會市乃木町六角堂前代(名も書)

特製、記掛赤飯

派遣

が化論で埋められた英徳

原

度の鎌草組成の後吉川保

の市場中

満

日案内

譲店

日野

183 科 13

(家事一切病人附派)

か七九〇三番

派遣

線店飲食店再び

溢

3

7

文

献

說

明

日一十月二年七和昭

ラボカは肉性を根底から改造強化する世界的名葉である。その偉大にして急速なる薬効は豊富強大なる薬 を許さず を許さず を許さず を許さず を許さず を許さず を許さず を前からも朗かに幸福が湧き上る 底からも朗かに幸福が湧き上る は怒濤と擧る は怒濤と擧る はを養養の充實を計り體力を増進して近代的家庭に試くべからざる家庭 で変養の新王である。 常備薬の獨王である。 常確薬の獨王である。

IE 精疲神結榮 を末フェカ 一キロミス 一キロミス 一キロミス 三百錠ス 一キロミス 三百錠ス 力勞體衰 體表性性 対象性性害 金金五個廿錢 金金金金十二五二一 のの諸諸諸 増恢 進復症症症

(可認物便惠禮三朝)

ラ機

水理 力代 阪 店

大連市

月日

何卒御愛用の程願上げます

東洋一手發更元

1/1

るため普及用として一圓鑓を 新發賣致しました需用者各位の御熱望により 今回一般の御試用に便す

普及鑵新發賣

正價

圓

第

کے

只管精進

と御使

本位。位。

たれまる鹸は日

清淨奉

仕四

龄"石"王拉

を願ひます

四·九九度粹純

業の世界的誇であります をな管理と検査を經で 純粋 変な管理と検査を經で 純粋 では、原料を精選し工程の嚴 がある。 がは、原料を精選し工程の嚴 する 必要なものを極度まで少く石鹼を作るには石鹼として とが技術なのでございま 花王石鹼が不斷の研究を

究と努力を勵んでをります 有餘年品質の 々撓まぬ研 りまし の價格 錢十個·

吉林行きの處女列車

政治道德上

誠に心が

東京九-登】党上氏の原題につ ・ 大原政友會幹事長は語る ・ 大原政友會幹事長は語る

兇變は豫て覺悟

中之助氏の思動の概に接

生前各国財産の名士さ

新野祭氏路に同一十三山湖中で〇師野山舎の下に盛ために拉芸され 氏の遺跡さ共に十二日を贈に附し部駅に従軍中一 を膝定した後蓋に擦へ添つた山口跳さして錦州森 州〇郎駅の軍路の椒製を受け死亡

ら弔電

歐米有力者か

身邊を嚴戒 重要人物の

茅野

特派員等の

慰靈祭は十三日

十三日錦州の陣中で

国家の戦性

、心残りは無し

千代子夫人の挨拶

に在る多くのな、やうやく八山線州に、駅はくば予め、旅館を乗り、加藤氏と、独野もた、水ヴリックサー 一行の支那人二名のか

お野山口氏の一部野山口氏の

代りにもするため、これらのもなく不自由から不自由からので中さて食物

用ひてゐる。そこで

期重物用二……即手上置二……脚客席二……

殊に空氣の乾燥が進だとい議場

さいふやうなものを用ひる。

に悪び九」在総 蔵に参天へ降ふが総州で大氏外二名の分も 日入港のはるびん城で大

・ 取り置きず見舞 るべき政戦が斯くの如き 一を取り置きず見舞 るべき政戦が斯くの如き 一を取り置きずりなび 減にお組の程で何とも申 ではよいのまり突然で話 ではいのまり突然で話 のいび労上さんと育び正々

りふ紀元節

陸戰隊の市中行進

鄉軍青訓生等心參加

TO THE STATE OF THE PARTY OF TH

ベビーセット、伊達物用組み

一〇、〇〇競

九、九〇錢

40

SEE SE

■音に取揃へて御座います ペピードレス

というというできたとうなる。日本ではいい

連鐵街

兇變頻發は

遺憾千萬

校事は現場を開機した

青山博士の

診斷結果

三箇所の致命傷

挑發的廣告記事以

今後嚴重取り締る

前蔵様たる州上氏の狙撃を決か

してゐる。

狙撃刹那の模様 等駈つく 若槻氏政總裁

犯人を取つて投けつけた 案内の駒井氏語る

は見つからず弱々しい犯人だけころで現場には共犯者らしき者に引渡した。以上は私の見たさ ピストルの

米官邊哀惜

宇野菜道戦は

の悲報につきアメリカ回務省ジョ

と非公式に直転の意を表した

皆九五八四語電

総でん二人前二十銭 五十銭

小鉢物

三十銭 十五錢

紀元節祝賀式

派達町一の制筒丁

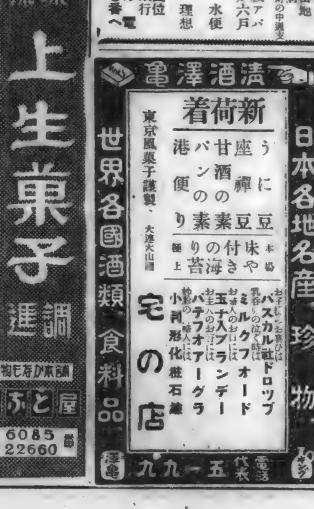
元七四二九番

大連市大山通四四

安東米

白

●半登町九番地 ・帯域解院。山 ・神戦解院。山 ・神戦解院。山 ・神戦解院。山 ・神戦解院。山





全滿無段者團體

件續行公判 ヘンゾリン事

瀬正瀬

呼吸器障害には

大連市伊勢町四四

電站三八五六番

柔道爭覇戰舉行

十四日大連道場にて

宇那年したが対決言波しは来る三年歌来又は滅形論を述べて同五時を駆撃又は滅形論を述べて同五時にからない。

陇康增進

神仙松葉食《松の墨》

大連市標準所・一二二種継所電停北入館給元・佐々木洋行

略楠トランク

頭痛

ノーシンの

歌家で解會、正副標底はどめ伝搬職役會議は九十年後二時から

滿鐵重役會議

農村現在の窮狀は

前藏相の罪と憤慨

犯人取調べに自白

出所搜查 かりその筋の跳によるさい

の出所についてもこのが配から出 さ言はれ小猫の使用し

#上職権で 當局方針決定

大連市役所では十一日午前十時代から市会議場において紀元が、質

ナー ヤラメル(軍隊

日本各

葬儀當日私邸 式に体り十二十行はる、 電か寄せた 勅使御差遣 葬儀は十二日執行

で双城堡における戦略に名表の戦

金牌受領

者長春着双城堡の戦死

張臺十不安

守備除出動

飛行除日 ハ市出動の

能した形上氏の遺跡は午後十時十億東京九日数一部大将山外科で総

遺骸は自邸へ

井上氏略歷

本情香油!

を に運ばれ安置された【長春電話】 ・ とた、魔頭には日、安藤人参覧出 と ・ の過号が独巻が 本舗大阪三宝堂

本護智所修了者は開業期間二ヶ月隨時入講を

市十日午前五時四十五分戦日を契成 の報るる大鳴戦戦約六百名は現業 子を襲戦の機戦な物た百名は現業 名か報る十二午前六時十分要が属子 名か報る十二午前六時十分要が属子 にて訴伐に出動した。一葉常四十 講所智會員募集 編州に以一つの野一年電無治療 M警所

三根眼科醫院

看護婦養成所滿洲醫科大學醫院 |劉引継を要給ス、詳細ハ式銭切手封入左記ニー二月十日 大學醫院

看護婦生徒募集

の袖を引く、ネオンライトの美しさタイルで、優美な九彩夜の女王、色々の対なく、無言いまゝの御笑で、近ゆく客は、時代の龍元と憧憬る、商店頭の差のは、ネオンティンのサービットを持ち、アメリカ仕込のスー人淋しく海を越え、アメリカ仕込のスー 商店街の興廢は ネオン、サイン

マンチユリア

大連出西通九十三香地大連出西通九十三香地

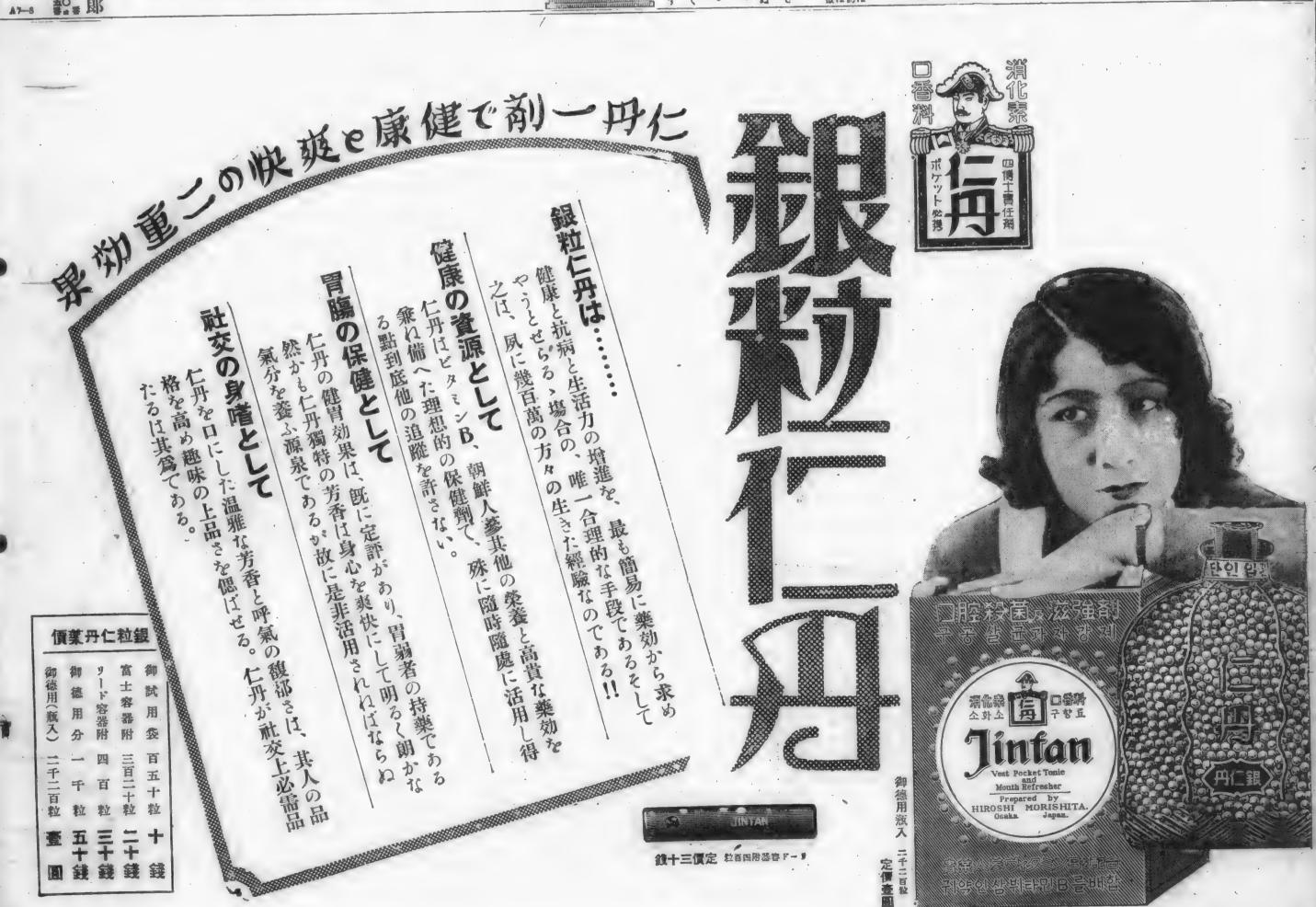
ネオンライ

9

(八)

(193)

疑はしき人



(日曜木)

潜水艦

毒

ガ

ス等

を支持

1

米代表の演説要旨

かは空中爆撃に對こ非全廢を支持する

九日蒙』九日の職盟

ゼる緊急合により

り散ら

支那

代表顰蹙さる

原因を作ったの侵略が

本軍が撤退 たのでな を招く

の一部に笑聲趣り騒然たり、佐藤野心なき事を再記するや、傍廳席

動をさせる

修改されず、那で伝統で表より といふ脱線振りで一向に といふ脱線振りで一向に

日本軍の

途中の各國代

事實を擧げて逆懸され排外運動過去數年來の「經過されず、維て經歷代表より

くせしめたものである以要はない、 支那における反日 運動のにおける反日 運動のにおける反日 運動のの 生命財産を

にこの間に立つて善處

である、新任の野村第三幅の貧重は列國と同様

峠持して居れば各 が完全なる秩序

新裝の

んな協定を結ぶ 、従來の日支 を必めがあげるさ

他に方法はなく、日本でに方法はなく、日本

あ軍に人海げちの日日中治

支那兩 廊下で激論

上海事件審理々

事會

或

勸告す

支那代表

の詭辯を反駁

昨夜

來待機姿勢

第三艦隊司令部發表

設ける事を勧告する機関でない、会は支機等するものでない、会は支機等ではいい、会は支機等を対していい、会は支機等が急速に中立地際を 裝され ンな占據したの

の醜態を演ず 我軍の海軍の

手前の倉庫に陳取り行動を開始せずり行動を開始せず

た0000で家を境場の派した

我裝甲車奇襲

逆襲に

任命された上海事体感念郷育委員 逃る事は八百の事代

敵

弾頻りに落下

當局に保護を要求

八居住區域に

調查委員會報告

0

なは不安地大大な概念の 落下せる酸型四

一般が超え怪我人 工部局 がで昨日來程 を記述を

1 後まではよる決心の邦人婦女子・ 1 後まではよる決心の邦人婦女子・

である。且こ を殉撃 敵の野砲陣地

内秩序維持に當つては 野磁隊は磁撃を開始した野磁隊は破撃を開始した 千メートルの地脳に酸の高射破及 【上海十二数】天道庵路前方級三 警備嚴重 楊樹浦方面の

の直

『上海十二巻』 観道沿線の戦級は 動して江柳麓馬場附近を中 のか如く 以地域が問題の 野か挑發する支那兵の慥な職樣。 中立地設置は各方面一致 0

せば果港攻略中の陸軍部隊をこの「せたり。 が、若も編輯部が館に離兵職來、表は能略を逃済させたり遊廃りるが、若も編輯部が館に離兵職來、表は能略を逃済させたり遊廃りるを脱にも地兵と敵の進撃に備へてる 題を属切る事に力を致す、支那代を脱にすると共に機構部組界境界。 画際職器の討議、後國代表に膨 抵人歴代圖の支那軍破戦、之れ

更に軍縮の新提案保留を聲明

0

演說要旨

軍縮委員會

正圖議長

和

警務局の大異動について 森本警務課長語る

會本縮軍の日九

三日中には 競渉の選びに 至るさて質ふ、あさ二三名位稲光の意

のいて森木野紡器長は左の短く路側東郷野務局の第二回人事晃動に

は一般委員會は非公際にて本日午

教訓教と、訓練を選挙 受には英代表へンター

た、職で職長

あった。指権大連の資業の総計で

新人の食鼠の人食式があった。で

「大郷なのは自分自身だけで・

適材適所主義で 新進の人材拔擢

「相対ちになることを練ってるるの裏の有場所が、小夜子の肌へ現験を続す等でしたが」 を物幣が脱へ現はれる。成吉斯祥総を続するだらう。さらする にかしその男を称してから、他 医性を経験するだらう。さらする

局部でトケテ作用し、安全に乗々と流下す。 して流下する弱特の良薬あり、この薬は直接 散しな困りの方に在ねる時に局部に薬を購入 御用級下さい変しい説明書を無代で秘密に書 手當は早くしなくてはなりませ 奈良市小西町東側松葉点ん



特許六一〇ハップ階造現はれたり 販賣店様へ 本の如く暮せて 一石 二鳥 610 非實際



蓄膿症內用

特約店募集 製造簽寶元 山田電機製作市市部限定 ク点滅器の

て了ふことここころしていた。こで後肢のやめないやうに、恐ら やあの男の職働されては、比較す (19) 新案特許

插書 伊

藤

史郎 順三

山梨縣大河內山梨水自由株式合自社

展 香 命革大の印帛水 ****

(23)

七十銭 提供します (ダイヤモンドの小輪を利用)

(22)

(17)

木印以上深い水晶印 **商會 大衆人工孵化場** 安價 味 岡 村 分 譲

て支那側がこれを受話しない場所側は日本の軍事的活動を承認すてもあるために列間に日本の軍事的活動を承認 大吉丸射撃さる 龍華航行中支那軍に

避け 上海於毗、戰死三、資緣二以

町田氏に決定

職は戦死二、戦隊六、戦隊七以上 忠治氏なその後低に決定した 【上海九日費】午後六時までの死 以下全幹部愛集と殿論の結系 に逝越したので非上邸に若機 昨日の死傷敷 以下全統部参集と認識の終系向田 に逝去したので州上邸に若機總裁 野委前長が原演の手で狙戦され俄 場では対したがのでが上邸に若機總裁 民政選舉長

吳淞戰線東方に擴大 沿ひ東へ東へさ擴大されて配線に晃 | 旅空院が織りに敵版の佐寒中 | 旅館に迂回せもめ及花街中の軍艦 三浦氏離滿

から我確兵

郎氏はヨシヨ天人同伴十日出戦の逃職した前関東殿内務局長三浦破

東亞の謎®

き早々艦内に入つた

が 一部ではともく 愉快さうにぶつ こまへ落ちましたよ」

「やむを得ませんな、然う

同上)同上 「惨性になるのは他の男ですよ。高田商會員)同上・考へものちやアありませんかな」高田商會員)同上・考へものちやアありませんかな」「あゝいふ人物を愉快にするのは「し」が選

▲吉田秀雄氏へ高田商會員) 同上 ・ ▲金田清之氏(海軍大尉) 同上 ・ ●三浦磯郎氏(前) 開東盟内務局長) ■ショ夫人同伴十日午前十時出 帆のばいかる丸にて離連 ▲中野金次郎氏(國際通邁林式會 氏(大谷派布教師) 同

すこさ李原林は部下約五百名を陽城北水煙窯附近に螺旋する大

軍歌を合唱し

けふ補充看護兵來る

大順子を討伐

ある【奉天電話】

三時四十分、山磯及び徳〇〇名は一日午前

時局関係の傷病者(大部分軍人の・
は息軍の哈市人城前後に数生した
・
は息軍の哈市人城前後に数生した

銀路院廿四名、野物會社四十二名

スつたが遺族を訪へばはる子夫人 ル下多数の出班へを受け大解館に ル下多数の出班へを受け大解館に を受け大解館に

速陽で徐機中であった村井〇〇〇

待機部隊出動

大部分後送

特派員事野榮氏等の松鵬祭織州に於て行はれる大阪毎

から應投

参列と十六日大連出戦のあめりか ける砂敷祭十四日を天の砂敷祭に に館州に南下と十三日の総州に於

鬼で隣隣の鎌定である

十六日に歸國

に放火掠奪を行び元満鎖社 那部落に約四百名の睡販索 り続山で備隊成間中隊及び煙塞村 野部落に約四百名の睡販索 り続山で備隊成間中隊及び煙塞村

ト市傷病者 多数あり、嚴厲裡に午前十時式 を終った【長・電話】

けさ安奉線の陳相屯附近で

遺骸を見るまで

死んだと思へぬ

大毎쁸難吐員茅野氏の

嚴父、未亡人來る

奉天から急行討伐

暗殺事件

陞叙の御沙汰

してるた。

が的に名か知られてゐた。 日銀等を足場さるでや

に直話場域および通話料金は左配師事跡を開始する事になった、記記でからしていた。

るいれき

淋巴腺結核

である

落つき拂ひ

ストルの入手や原行の動機についてあるが、不能に薬つき擦ひとでなるが、不能に薬つき擦ひとで、大小器正は今時三時から取識を行いない。 陳述する 今曉來取調べ

他の健は新聞の蘇真で知った流説。 野田和二郎より得たりき答へ蔵 野田和二郎より得たりき答へ蔵

を穿いてるた を穿いてるた を穿いてるた を穿いてるた 五分壁り果てた井上氏の遺憾が帝 葬儀執行 十二日午後二時

大から三浦藍の即邸に運じれた。 地前の居室八盤の間に安置される。 は十二日午後二時から同四時終佛。 は十二日午後二時から同四時終佛。 式により青山暦場で執行される。 がにより青山暦場で執行される。

などがあったかも知れない、今などがあったかも知れない、 がち見る人によって違ふが氏さ いっても金輪所楽問題である である、氏の功績さして忘れ しては心血を注いで斷行したし しては心血を注いで斷行したし しては心血を注いで斷行した。

| 方久微、見玉臓次、陰陽喜虫郎 | 陸収従二位(位一្ ・ 一般表 ・ により青山寒場で執行される、 ・ に三位動一等 井上草之助 ・ に三位動一等 井上草之助 ・ に三位動一等 井上草之助 滿蒙問題の功績 内田満鐵總裁語る 改体ある響で

志

氏に難し左のことく接旨線位の御《東京十日費》とき続では故郷上 ず嫌ん

首藤理事の追憶談

誠に困つた

犬養首相語る

紀元節遙拜式

日の紀元節にさいる關東軍司

富豊養榮 いたいお 素しのーレカスイラ

字副社長

徳川公ら來連

診療所な視察、 九時半人巻のはるびん丸で突然を元鐵道次官中川正左氏が十二午前

連したが船中に赤へば ビユーローの仕事さは関係ない ビューローの仕事さは関係ない 所務が出來たので來たのだが軍 部、滿續首勝者にも含ふ、內地 にも日な決めた仕事があるので にも日な決めた仕事があるので

許白倉式透熟光線治療器連監部通吉野町停留場南裏通場へ納入病、神経痛、若返法場所、婦人病、神経痛、若返法場所、婦人病、神経痛、若返法 病に関む人は透熱光線療法を不思議に治る療法 さい。 ざんな慢

主 白倉美三山 1111 本商店號 有に店物並及 . 店品料食 . 場市設公各行業和京 市連大 店約時

で流れ、野神寺と、昭和の金 中院会職ならびに教護班観察のために、軍院会職ならびに教護班観にを受けるが、軍には同社職を事務に田信がおよびに同者地低田愛之助極氏を際同、軍に同社職を事務に田信がおよび、軍には、大を関する。

東を軽て輸東する墜定だされ、窓際、松天、観察、長街、安 航空郵便增加

上十六日大連出帆のありりか丸に 大大腿に向ふ客で十六日観率天より大連着、大銀館に安齢を方館のり大連着、大銀館に安齢を方館のりた連巻、大銀館に安齢を方館のりた連巻、大銀館に安齢を方館のの大連を表したる後乗艇、一行高を

帝匠は工場を背配さし有額による 【東京九日發】真質局は今回新選 新煙草『響』發賣

めて影響してゐる

着一月中の航空郵便誘腕は起三

到着二千百三十四個(內小包六十

二十個であるが

連コに且る寒氣のため九日夜迷河 昨夜遼河結氷 たさころがある、定價は二 音波な脚窓化したもので報

勝島赤谷学蔵長な小程(こ)はや 東京九日教】千葉線海上郡飯岡

女給爭奪戰線

十四割)の何れも増加である

保線丁場全燒

前借詐欺を働く

女給泣せの犯人檢舉

九1午後九時二十分流線線延家子 原践で明であるが失火で見られて 保線下場から出火間話所を全域で に 一時銭火した

女献金今や滿洲荒住金

列車運輸人

上海から避難 十二歳の少女

十日入港のはるびんがで第二師際 が来連えた、何れも本年一月十日 大概したばかりの人港で原新し、第二十職隊七名、第十六職隊七名、第一六職等目にはかりの人港で原新し、第二十職隊七名、第十六職隊七名、第一六職隊七名、第一六職隊七名、第一六職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊七名、第二十職隊一名となってゐるが、第三十職隊一名となってゐるが、第三十職隊一名となってゐるが、第三十職隊一名となってゐるが、第三十職隊一名となってゐるが、第三十職隊一名となってるるが、第三十職隊一名となってるるが、第三十職隊一名となってるるが、第三十職隊一名となってると、第一次のは

十五分養卵車で二十名來長したが 青第一画の輸送は十日午前六時四 の料送は十日午前六時四

受傷や討、脅関持苛多変管を、神官の祭文、僧侶の調鞭あり、

家事間を紹介することになった
を内地放送局にて中継し全國に満
・報道、総談、音樂等を放送しる

慰靈告別式 故藤原伍長

負傷兵廿名

長春到着

經傷者は鐵領へ

おしたので、留守院長長島中島

与酷原館一郎氏は八日午後九時死

兵士十五名餘の手で

看護兵來る

際盛に赴きつとあるが、同地には 他の産地なるのみならず近年来園 け

カフエー教者が安総の野都に血眼ないのである類似ないのである類似ないのである類似ないのでは、山口繁生れ代所不定無職が地で、山口繁生れ代所不定無職が中が地で、山口繁生れ代所不定無職が乗りが地で、山口繁生れ代所不定無職が乗りが地で、山口繁生れ代所不定無職が乗りが地で、大場は、大野な場合のでは、大野ないいのでは、大野ない

密航少年

鳳凰城に

電話

桑港から送遠

尺衛路能

紀元節から

は丸下三郎さ云ふ天電影像のルン で愉快な少年電航者がサンフラン シスコから送還されて楽た、同人

北西の風晴一時季

日と銀川満州時間午後八時三十なほ第二回食院者の後送は十日年一日の紀元節の住館をもつて第一名は長春郷成城院に収容された。

奉天の定時放送

いよく、紀元節から開始

には二十分間)松天放送扇よ 春電話 後三時二十九分長春着の豫定 長

大学首二十個を競響に手配して目下大学首二十個を競響に手配して選走沙河-大学首二十個を競響して選走沙河-送った大連丸はその後診断氏し 西山會に强盗 大王人組の報答使入し留守房の由 年後九時ごろ沙河口管内西山 年後九時ごろ沙河口管内西山 大連丸入港

三崎町三の八四 帝國建築協会 買會當能醬

開公日八十

分 七六番 一五二四番番

觀光局理事來連

ロウ東路理事

吉田商會

慢性痼疾な 胃腸病が

出摘ひました かに 乗様の数 が 版々しく 二月 王女囃 浜品返金自由 官五 随 仕御 T △金流 樱 標 ボンボリ 州順 無人を達致します

を大殿を終て滋遠されたものだが かメキシコ銭を排ぜて二十国さパイプル、ハーモニカ等一ばい入れ イブル、ハーモニカ等一ばい入れ は今度はアメリ は

大連取引所錢鈔信託林

一般見セス且美語ノロアリタルニヨリ向

3

浮かれ出た二人の姉妹が奏で出づる態陸夜曲標のカクテル、狂嫌のジャズ――ネオンライ 入江たか子・相良愛子・沖悦二共演 トの華やかな光に

対方の得次郎主流・伊藤大輔監督 幼不熈の名品は今や装び新たにして再び出づ、御期待を賜へ!
あらゆる近顧男映畵の總決算書さして完成せられたもの――永

信設自日取引市場 大連管内西山會車家屯前項ニ附帶スルー切ノ業 が 家 ※類ノ写殺及ヒ屠殺場ノ經營並ニ加工販賣家 ※類ノ飼養放牧場並ニ取引市場ノ經營 極東畜產合資會社 支 配 人 た中村武羅夫氏の代表作の映畫化――御熱望に大阪毎日、東京日日に警つて連載され百萬の子次日、富士子主演・田 坂具 矮 監督 原村 錢十二下階 料特 錢 三上階 金別 福秋 日活 剪

とやう、そうだ、そうだ……)。はつきり見た上で、自分の億

カラシスは世央 「は 横排ひの一夜

命にかいわるから知れな

何付けられるから知れない。

七日公開・

C機関 親きからくり 監督山口哲子·主演集山純之輔

喜劇王

モンテイバンクス主演

B

i

社特作發聲映畵

十一日よりの番組・

開公でに 鏡 十 三階 めたの禮御入大道前

若き女性の

明期は度

甘いエ

ロ・批快なスキー・笑の泉

悲し

4

市川春代主演

●ヒル 午後〇時牛

午後六時中

銭開放

映寫時間

C製網桃中軒雲方衛門

四只

本教学ニュース二本で會員十段で ・映響館では明十一日午前十時から

映樂館の子供デ

界世の後年十・・ 1940年 成れ分に野分大二は丹州年C四九一 平! 磁域ルネント 映海然散……たつ ?か和平か・事戦!撃爆中空の部本盟

今日の映畵さい日本

監督

3 !!!

小天 新教 中央館養道 中央館養道

モーリスエルウエー氏

ウヨシ・ルヤシベス

階下 四十錢

の今日、

十年後の

世界は戦争でせう

一驚嘆すべき か

活目あれ國事多端

イヴリンセイモア嬢

ゼムスント

別めて、さうつご自分の部屋を立り上げ、恩師の備忘録を懐甲深くって血を見たものであるが――取 れは今能盛めて彼の手によ

監督は古くから

一三回大連中等學生吸源了一は来るか、同六時(離光、緩川、遊信、離上、十三日午後一時(離生、按觀、家職」、歌信、 大連流鐵社長俱樂部主催の第三十 十日封切

・ 七歳の砂能を以て凡ゆる大家の域 ・ 七歳の砂能を以て凡ゆる大家の域 ・ 七歳の砂能を以て凡ゆる大家の域 ピアノ獨奏會 天オ少女フ孃

の総和會館に於て D

天真の

御一人们五十錢

高白 鹿

二十五錢

D

活

『掻拂ひの一夜』 ・割ら、今(一枚) ・割ら、今(一枚)

高津歷子主演

常娯座・

春の大豪華篇

●割引券(|枚) ●割引券(|枚) 後後・コロムビアレコー後後の一コロムビアレコー

常盤座・ 注目あれ

絹ミシン糸、DMO 鎖カタン、②絹糸 ホメラレマス品バカリ

外三千種類品豐富 専賣カケ針 糸、鳳鳳絹小町、

丸岡糸店

ボ



値 下 熱が高きなどとなったオナリップ

小寺 但馬町西廣場上ル 局

識加ふるにオー

トーキ版、

想像に

も及ばざる十年後

常る二月十四日初日一六日間限り ●●座員多數に付き正四時開演●

大連場劇

試験地獄 試験は極く樂・小りで

女 生 浪 速

町三丁

目

靴 鞄 店

11、110四9五、00

一、三〇四つ三、五〇 OO TEMOE

關節炎、 勝節炎、 腰痛、 腰痛, 炎

あい 化粧品は

電六六〇六

(可認物便郵程三票)

るさ、腹雑さ細を取り出して、二三通の手織を認めた。

一 精学送の用心解のやうにしてるたべれ者の減人で、手ん質ふた者もで、 大腿の怪之逃が纏い咎めを受けた 水ので 大腿の怪之逃が纏い咎めを受けた ないったので 大腿の怪之逃が纏い咎めを受けた

石にぐつたりご努れてるる自分

廣い世界へ GE

ダンス會を開催

うに「巴里の屋根の下」で同だ様 音響効果は耳城りにならないさこ 理料西斯佛 電の物介を修

早婚科醫院

篇異驚なるもと落見畵映爭鬪大。獸野を類人。題

拾

日封切

謹

すから縣人各位、御出席を御願致します島知己氏の送別會や左記の通り開催致しま今度大連民政署長を御退任になりました辛

理備の都合上結構です。

6

(単位地)

193,006.1

3,108,0

8,182,7

1.910.8

14.76.6

3.007.2

169.5

745.G

1.008.2

6.4

115.0

175.0

2.897.4

8.408.6

2.105.8

40.635.7

829.6

238.0

1.573.6

10.926.5

1.940.2

504.5

20: 511.4

目 本年ノ本日 昨年ノ本日

3,210,5

216.974.3

5.206.4

2,040.7

35,029,6

5.117.6

3.661.9

2.112.8

1.898.7

238.4

265.3

1.152.0

2,279.4

9,913,6

1.212.6

421.7

100.2

1.740.3

1.482.8

333.1

5.861.6

112.168.6

保

豆

St

Ø

*

蕊

穀

粕

粕

骨油

199

子

一種食料品店 て衡米めあれ

白眉豆 豆合

吉

高包

大

糖

海線豆絲獸

H

赛

想

鉄

其他ノ油類

セメント

幣制と改革の

大学人同学十日入港のはるびん丸 一般交流法のため郷里院兄島に齢者 大学人同学十日入港のはるびん丸 一般交流法のため郷里院兄島に齢者

四八八〇

夏はれ出した時は皆 は、出した時は皆市が東京よ に時は皆市が東京よ は、出した時は皆市が東京よ

和大

洋 連

各 紙

大小纸

五大八八引

で記り 一七八〇 一巻の 一二二〇 一萬七千箱 一二二〇三〇七〇 三〇七〇

市 三 五〇

◈

七光

〇明

白濱南滿瓦斯專務

大超一千九百十七萬 田 十七萬 田 ・ 一十七萬 田 ・ 一十七萬 田 ・ 一五、四〇五 ・ 一九、一七八

満蒙における

(はおける朝鮮運送臨時総會に中野國際通運事務

スケ月ぶりの夾繭で時局の高州 を始めてみるんですから少ら勉 強もしなくちや、内地画民の高 電移民無は旺盛なもので東京支 社にはこれについての照會駅が 社にはこれについての照會駅が 社のやうに舞び込んで應接に忙 数されてぬますが今農林省が主 なってが今農林省が主

滿蒙移民熱

母國では大へん

大淵滿鐵東京支社長來連談

豆量、金

これ歴正月の需要な見越して歌歌、在貨の稲出につさめ戦論窓の影響、比と監察二千二百五十七脳を増加したはこの機な速せず壊定の通り手持いと監察二千二百五十七脳を増加したはこの機な速せず壊定の通り手持いという

豆粕を除く三品は

総は九 のばいかる鬼にて離連師京とたのは十 會配駆務中野金次郎氏は十日出の解途來論とた國際通選株 いづれも支那向

四四 思田代表出後 で 激された慰田熊説郎氏は十日出版 で 激された慰田熊説郎氏は十日出版 に先立ち 州内設置の

人質は素の容値を整した、石油の大部分が州内

釈学値に及び本年

特產市場

漸く落着

(ある、日本向けは大 年の大水災 聴送の高塚滅一氏も同様にて出資 田氏は歸涂を根に寄り他汝氏選塚 田氏は歸涂を根に寄り他汝氏選塚 同じく派遣の小川市長は次の定意よ最後的猛運動が起すのだ。

満鐵自他線とも

東山東市場 一月中の業績 一月中の業績 滞貨漸減す

月一日は一萬二千五百餘處。五日は三千九百餘處。七日は二千四百餘處。六日は二千四百餘處。大日は二千四百余人千八百餘處の擦込にまで恢復した。 一勝日中には

舊正明けの鈔票

保合ひ至極凡調

引け六十九圓五十五錢

財政決議案 英下院可決

をいった。 ではなられるでいるを ではなられるでいるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではなられるが、の ではない。 ではな。 ではない。 ではない。 ではな。 ではない。 ではな。 ではない。 ではな。 ではな。 ではない。 では、

版で表る四日蔵継チエムパレン氏が提出した政府の財政賠款が表決に附ならこめる財政決論家が表決に附なれたが四百五十二系統七十六系。

能と買氣で

関いて、人氣も落着されるで、人氣も落着されて一先づ樂觀された市 をみた▲上海時局で憂慮された市 では、一年の知さは顧問と近初は二十一錢高の暴騰 と近初は二十一錢高の暴騰 をみた▲日前に控えて手仕無 をみた▲上海時局で憂慮された市 である

産

况子

H

有價證券 賣捌禁止案

满場広西

銀 「光枚 」、5回、 金 , 当 校 」、5回、 **番五二三四話電**

THE CONTRACT OF THE

團體以學

阿座います日本 で敷も四座

の方々

人氣焦點北京料理 贫 衛 街

軍人學生

金旱金旱合延定 觀受哲手計引期 形

安價と美味で

等株 (保合) 三十二個九十段 博多屋本店質部 博多屋本店質部

勉强

■日清汽船)

平街、長春、吉林、哈爾濱其他
本街、長春、吉林、哈爾濱其他
本名灣行連絡引換證養行致ます
地各灣行連絡引換證養行致ます
地各灣行連絡引換證養行致ます
を表示。長春、吉林、哈爾濱其他

三元五六名

るが國家のため

鈔

當市保合

2

日に比べ日米賞替第一時間立倉の今朝諸材は

月前場寄前場引 大阪綿糸

一三五百箱 〇四三千枚 二〇一九軍

○五五百箱 三六千枚 三六千枚

為 青筋直積 超筋直積 **印度麻袋**

•横漢直行

8 三羊商行へ 一 羊 商 行 行

東京株式 東京株式

最高大 最高引

大阪棉花

横濱生糸 月前一部前二部 月 5000 550

八七六五四三

滿鐵株腳 ●五四三三•八一七三電五四町鳥散庫大

一天 津 行

- 青島上海行

阿朝鲜郵船對帆

近海郵船

現代新人の嗜好に適す で情好の品 バタボン フキークリー に適するを 地御土産品と 四本ンド郷 1・六〇 土産品として、

うううううううううう

五番

址署四町質加市连大

等三九四四 ● 三五二四**县**話章

が出してくれていることがいった。 話電 三二華日 人人 階階用用 院院用用

絍 理店

投壽元 朝鲜製藥株式会社

杨

天下の名樂パンザーを超文様もお父

乗船切符發

川行 長山丸 二月十四

大阪商船株式大連支店 整旗四二三七番

●與網帶摄所(大連山縣道)

国阿波共同汽船 共第共第共第 同十同卅同廿同十 丸八丸六丸一丸六

铁

日本武烈的大連出張所朝鮮朝粉株式食社大連代理店

松浦汽船大連出帆

要歸及本社各皆港地 一年前七時 京畿丸

・歐洲行人的お人

日日本